

**令和4年度
坂井市教育委員会の事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書**

坂井市教育委員会

— 目 次 —

I	はじめに	1
II	点検・評価について	2
III	令和4年度坂井市教育委員会の活動状況	
1	教育委員会の会議開催等の状況	3
2	教育長・教育委員会委員の活動状況	6
2-1	指導主事学校訪問	9
2-2	全国大会等出場激励会	10
3	委員会、審議会等の審議状況	12
4	教育委員会関係の許認可の状況	14
IV	教育委員会関係事業の取組実績	
	令和4年度事業別施策の成果報告書	
○	教育総務課	16
○	学校教育課（給食センター）	20
○	生涯学習スポーツ課	32
○	文化課（みくに龍翔館、丸岡城国宝化推進室）	41
○	市立図書館	50
V	有識者からの意見	53

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月から、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

本報告書「令和4年度坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」（以下、「点検・評価報告書」という。）は、地教行法の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民の皆様に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が令和4年度の主要施策の取組結果とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価をまとめたものです。

II 点検・評価について

1 対象期間

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）

2 点検・評価方法

(1) 点検・評価報告書の作成

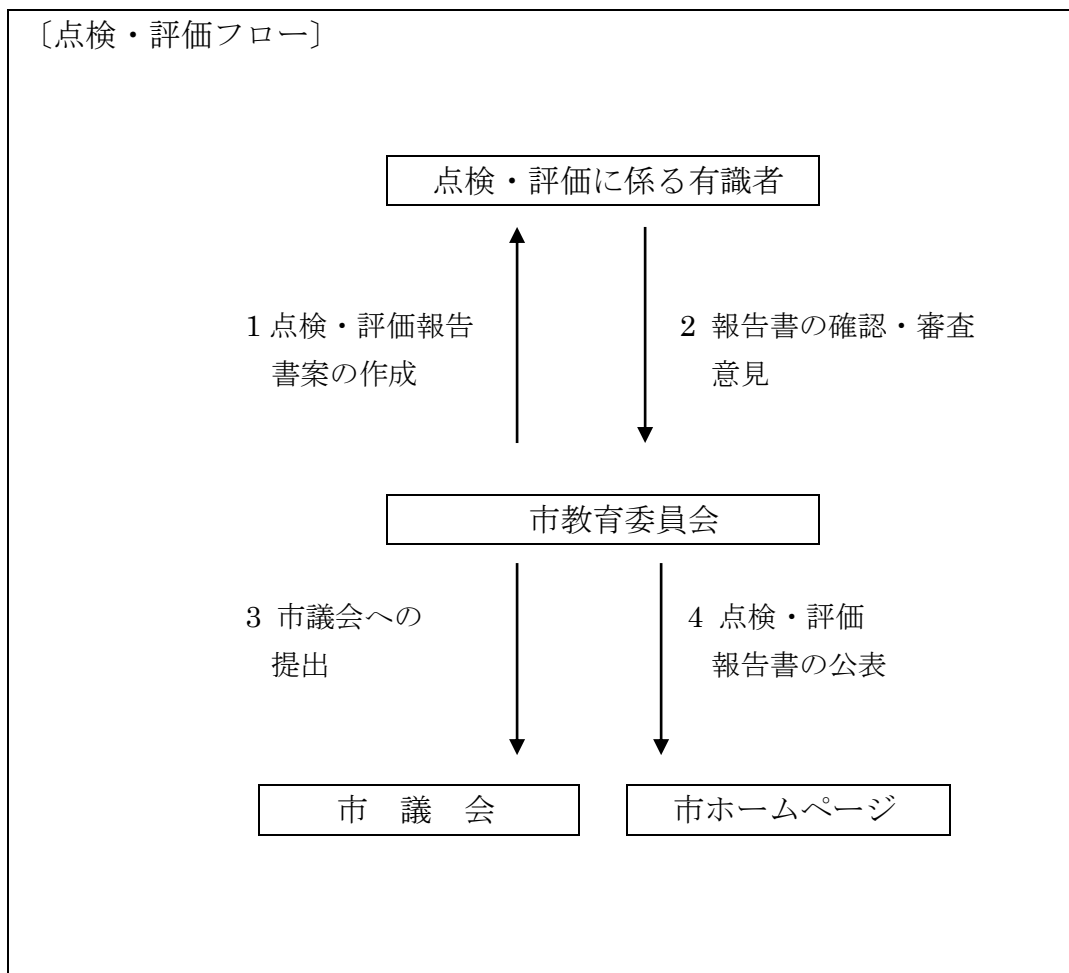
教育委員会において点検・評価報告書案を作成

(2) 点検・評価報告書の確認、審査

有識者による点検・評価報告書案の内容の確認及び審査

(3) 点検・評価結果の公表

点検・評価報告書を市議会に提出するとともに、市のホームページにおいて公表



Ⅲ 令和4年度 坂井市教育委員会の活動状況

1 教育委員会の会議開催等の状況

(1) 坂井市教育委員会 教育長、委員

(令和3年5月11日現在)

	氏名	職業
教育長	川元 利夫	
委員（教育長職務代理者）	若松 静栄	茶道教授
委員	牧田 靖夫	会社役員
委員	田中 典夫	公益財団理事
委員	宮崎 美恵子	医療法人理事

(令和4年5月11日現在)

	氏名	職業
教育長	川元 利夫	
委員（教育長職務代理者）	牧田 靖夫	会社役員
委員	田中 典夫	公益財団理事
委員	宮崎 美恵子	医療法人理事
委員	橋本 明子	

(令和4年6月1日現在)

	氏名	職業
教育長	林 晃司	
委員（教育長職務代理者）	牧田 靖夫	会社役員
委員	田中 典夫	公益財団理事
委員	宮崎 美恵子	医療法人理事
委員	橋本 明子	

(2) 教育委員会の開催状況

- ・ 開催回数 14回
- ・ 附議事項 32件

(3) 教育委員会審議案件

- 4月定例教育委員会〔令和4年4月26日（火）〕
 - 議案第 1号 坂井市学校事務共同実施組織責任者の指定について
 - 議案第 2号 坂井市図書館協議会委員の承認について

- 5月臨時教育委員会〔令和4年5月11日（水）〕
 - 議案第 3号 坂井市教育委員会教育長職務代理者の指名について
 - 議案第 4号 坂井市教育委員会委員の席次の決定について

- 5月定例教育委員会〔令和4年5月24日（火）〕
 - 議案第 5号 坂井市社会教育委員の承認について
 - 議案第 6号 坂井市青少年愛護センター運営委員の承認について
 - 議案第 7号 坂井市青少年育成推進員の承認について
 - 議案第 8号 坂井市就学援助費支給要綱の一部改正について
 - 議案第 9号 就学指定校の変更許可について

- 5月臨時教育委員会〔令和4年5月24日（火）〕
 - 議案第10号 坂井市教育委員会教育長辞職の同意を求める件について

- 6月定例教育委員会〔令和4年6月20日（月）〕
 - 議案第11号 坂井市教育委員会教育総務課所管補助金等交付要綱の一部改正について
 - 議案第12号 坂井市給食費徴収規則の一部改正について
 - 議案第13号 就学指定校の変更許可について

- 7月定例教育委員会〔令和4年7月22日（金）〕
 - 議案第14号 就学指定校の変更許可について

- 8月定例教育委員会〔令和4年8月23日（火）〕
 - 議案第15号 坂井市中学校文化・スポーツ大会出場激励金交付要綱の一部改正について
 - 議案第16号 就学指定校の変更許可について

- 9月定例教育委員会〔令和4年9月28日（水）〕
 - 議案第17号 就学指定校の変更許可について

- 10月定例教育委員会〔令和4年10月26日（水）〕
 - 議案第18号 坂井市丸岡城調査研究アドバイザー設置要綱の制定について
 - 議案第19号 就学指定校の変更許可について

- 11月定例教育委員会〔令和4年11月24日（木）〕
議案第20号 就学指定校の変更許可について

- 12月定例教育委員会〔令和4年12月22日（木）〕
議案第21号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
議案第22号 就学指定校の変更許可について

- 1月定例教育委員会〔令和5年1月26日（木）〕
議案第23号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
（追加）
議案第24号 就学指定校の変更許可について

- 2月定例教育委員会〔令和5年2月21日（火）〕
議案第25号 坂井市みくに龍翔館条例施行規則及び坂井市教育委員会行政組織
規則の一部改正について
議案第26号 坂井市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
議案第27号 就学指定校の変更許可について

- 3月定例教育委員会〔令和5年3月23日（木）〕
議案第28号 坂井市教育委員会の個人情報保護に関する規則の廃止について
議案第29号 坂井市給食費徴収規則の特例に関する規則の一部改正について
議案第30号 坂井市水泳プール条例施行規則の廃止について
議案第31号 坂井市文化財保存活用地域計画推進協議会設置要綱の制定
について
議案第32号 坂井市教育委員会の権限に属する事務委任及び補助執行に関する
規則の一部改正について

2 教育長、教育委員会委員の活動状況

	月 日	委 員 名	活 動 内 容
1	令和4年4月1日	川元	教育委員会辞令交付式
2		川元、若松、牧田、田中、宮崎	新採用・管理職・転任校長辞令交付式、教職員着任式
3	4月4日	川元	坂井地区第1回学校運営研究大会
4	4月5日	川元	第1回教育振興研究会代表者会
5	4月8日	川元、若松、牧田、田中、宮崎	各中学校入学式
6	4月11日	川元	第1回坂井地区教育長会
7		川元	坂井市教育研究会総会（オンライン）
8		川元	坂井市民創造企画支援事業審査会
9	4月23日	川元	坂井市文化協会通常総会
10	5月9日	川元	第1回福井県市町教育長会議（オンライン）
11	5月12日～13日	川元	全国都市教育長協議会定期総会・研究大会 山口市
12	5月15日	川元	第29回一筆啓上頭彰式（規模を縮小して実施）
13	5月18日	川元、牧田	小学校運動会（春江西）
14	5月19日	（川元、若松、牧田、田中、宮崎）	福井県市町教育委員会連絡協議会総会・研修会（中止）
15	5月20日	川元	福井県都市教育長協議会総会
16	5月21日	川元、牧田、田中	小学校運動会（長畝、高棟、明章、春江東）
17	5月23日	川元、宮崎、橋本	坂井地区合同教育委員会、学校教育研究会総会
18	5月25日	川元、宮崎	小学校運動会（加戸）
19	5月26日	川元、牧田、宮崎、橋本	小学校運動会（雄島、三国西、大石、東十郷）
20	5月28日	川元、橋本	小学校運動会（兵庫、木部）
21	5月30日	（川元）	青少年育成坂井市民会議総会（中止）
22	6月2日	林、牧田、宮崎	小学校運動会（三国北、春江）
23	6月8日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（芦原中学校）
24		林	第2回市町教育長会議（オンライン）
25	6月9日	林、宮崎、橋本	ふれあい文化スクール
26	6月16日	林	女子フットサル国際親善試合坂井市歓迎レセプション
27	6月19日	林	日本AMCインターナショナルカップ2022
28	6月25日	林	福井県PTA連合会・坂井地区研修会（オンライン）
29	6月28日	林	地域との協働による高等学校教育
30	7月3日	林	2022少林寺拳法福井県大会
31		林	わんぱく少年団結団式
32	7月8日	林	第3回市町教育長会議（オンライン）
33	7月9日	林	海からのおくりもの2022
34	7月12日	林	第1回市民文化祭実行委員会
35	7月22日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	総合教育会議
36	7月30日	林	三国町地区対抗小学生スポーツ大会（野球）
37	8月2日	林	学制150年記念企画展「学校150年物語」開会式、展示案内
38		林	第4回市町教育長会議
39	8月4日	林、田中、宮崎	坂井市教育研究会全体研修会
40	8月7日	林	三国町地区対抗小学生スポーツ大会（女子親善バレーボール）
41	8月9日	（林）	福井県小学校教育課程研究集会（オンライン）
42	8月18日	林	第2回坂井地区教育振興研究会代表者会
43	8月20日	林	くちなし忌
44	8月25日	林	福井県小学校長教育研究坂井大会
45	9月1日	林	第5回福井県市町教育長会議（オンライン）
46		林	中学校文化祭（三国）
47	9月2日	林、橋本	中学校体育祭（坂井）
48		林	北陸三県高校生現代アートビエンナーレ第1回会議
49	9月3日	林、牧田、田中、宮崎	坂井市茶華道連盟10周年記念茶会・花展 オープニング
50	9月8日	林	中学校文化祭（丸岡）
51		林、牧田、田中、宮崎、橋本	子ども会壁新聞一次審査会

2 教育長、教育委員会委員の活動状況

	月 日	委 員 名	活 動 内 容
52	9月10日	林	中学校文化祭（丸岡南）
53	9月11日	林	中学校体育祭（丸岡南）
54	9月12日	林	福井県立朝倉氏遺跡博物館 開館前視察
55	9月13日	林、牧田	中学校体育祭（春江）
56		林	中学校文化祭（坂井）
57	9月14日	林	坂井地区中学校駅伝競走大会
58	9月15日	林、田中	中学校体育祭（丸岡）
59		林、宮崎	中学校体育祭（三国）
60		橋本	ふるさと子どもコンサート
61		林	三田国際学園中学校教育旅行成果発表・意見交換
62	9月16日	林	中学校文化祭（春江）
63	9月24日	林、牧田、田中、橋本	第15回こどもが描く”ふるさと坂井”絵画展表彰式
64	9月30日	林	小学校運動会（鳴鹿）
65	10月3日	林	重森光太郎ピアノコンサート
66	10月6日	林	令和4年度ふくい桜マラソン実行委員会
67	10月10日	林	第17回坂井市民スポーツ祭（スポーツフェスタ）
68	10月11日	林	春江町更生保護女性会 講演
69	10月12日	林	小学校運動会（三国南）
70	10月19日～20日	林	福井県市町教育委員会連絡協議会教育長研修会
71	10月25日	林、宮崎、橋本	みくに大好き交流会
72	10月26日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	巡回公演事業 本公演（バレエ）
73	10月28日	宮崎、橋本	福井県市町女性教育委員の会 第1回研修会
74	10月29日	林	青少年健全育成福井県民大会
75	11月5日	林、宮崎、橋本	第17回坂井市民文化祭総合開会式
76	11月6日	林、牧田、宮崎	第15回坂井市古城マラソン大会
77	11月13日	林	第15回坂井市エスキーツニス選手権大会
78		林	第2回坂井市長杯卓球バレー交流大会
79	11月14日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	教育委員会委員県外研修
80	11月18日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	第2回坂井地区合同教育委員会
81	11月19日	林	教育委員会と学校の未来について語る会
82	11月20日	林	第2回子どもフェスティバル（子ども会壁新聞コンクール表彰式）
83	11月21日	林	第6回市町教育長会議（オンライン）
84	11月25日	林	第63回福井県特別支援教育研究大会・坂井大会
85	11月29日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（金津東小学校）
86		林、牧田、田中、宮崎、橋本	金津創作の森 発酵ツーリズムにっぽん/ほくりく展
87	12月3日	林	坂井地区子ども会ディスクドッジ大会
88	12月9日	林、田中、橋本	ふるさとづくり大会
89	12月17日	林	キャリア教育フォーラム
90	12月18日	林	日本女子フットサルリーグ
91	12月22日	林、牧田、宮崎	文化財保存活用地域計画認定記念講演会
92	令和5年1月5日	林	第3回教育振興研究会代表者会
93	1月15日	林	第17回坂井市小学生親善かるた大会
94	1月18日	林、田中、宮崎、橋本	夏井いつき講演会
95	1月20日	林、田中、宮崎、橋本	一筆啓上賞 入賞者発表会
96		林	第3回市民文化祭実行委員会
97	1月29日	林	家族のきずなエッセイ表彰式
98	2月4日	林	福井ふるさと教育フェスタ
99	2月5日	林	三国町地区対抗小学生スポーツ大会冬季大会（卓球大会）
100	2月6日	林	第7回市町教育長会議（オンライン）
101		林	坂井地区教育長会

2 教育長、教育委員会委員の活動状況

	月 日	委 員 名	活 動 内 容
102	2月7日	林	学校運営研究大会
103	2月11日	林	ソフトバンクホークスオンライン野球教室
104	2月18日	林	坂井市成人大学閉講式
105	2月19日	林	磯部地区区長会講演会 JETS
106	2月25日	林	坂井市のお宝「丸岡城天守」～新たな知見と謎～ 講座
107	2月26日	林	第17回坂井市民競技かるた大会
108		林	わんぱく少年団修了式
109		林	第8回坂井市郷土芸能祭
110	2月28日	林	わんぱく王国事業 わんぱく王授与式
111	3月9日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	市内中学校卒業証書授与式
112	3月11日	林、田中、宮崎、橋本	坂井市教育委員会表彰式
113	3月14日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	市内小学校卒業証書授与式
114	3月16日	林	丸岡城サミット（オンライン）
115	3月17日	林	坂井市スポーツ協会表彰式
116	3月18日	林、田中	明章小学校30周年記念式典
117	3月19日	林、田中、宮崎、橋本	はたちのつどい
118	3月25日	林	小中学生俳句コンクール表彰式
119		林	第17回公演まるおか子供歌舞伎
120	3月26日	林	ふくい桜マラソン TRIAL EVENT 2023
121	3月31日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	教職員離任式

※教育委員会会議は、前項に開催状況の記載があるため本表からは除いてあります。

※指導主事訪問および全国大会出場激励会は、別途一覧表（次頁以降参照）があるため本表からは除いてあります。

※委員名の（ ）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため出席予定行事が縮小または中止になったものです。

2-1 指導主事学校訪問

	時 期	出席委員名	活 動 内 容	
1	前期	5月19日	川元、牧田、田中、橋本	指導主事学校訪問（坂井中1回目）
2		5月25日	川元、宮崎	指導主事学校訪問（丸岡中1回目）
3		5月27日	川元、田中、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（丸岡南中1回目）
4		5月31日	宮崎、橋本	指導主事学校訪問（三国南小）
5		6月2日	林、牧田、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（大石小）
6		6月7日	林、牧田、田中、宮崎	指導主事学校訪問（春江中1回目）
7		6月10日	林、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（高椋小1回目）
8		6月15日	林、牧田、田中、宮崎	指導主事学校訪問（明章小）
9		6月16日	林、牧田、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（大関小）
10		6月17日	林、田中、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（春江西小）
11		6月21日	林、田中、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（東十郷小）
12		6月22日	林、牧田、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（磯部小1回目）
13		6月23日	林、牧田、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（春江小1回目）
14		6月24日	林、田中、宮崎	指導主事学校訪問（三国中1回目）
15		6月28日	林、田中、橋本	指導主事学校訪問（平章小）
16		6月30日	林、田中、橋本	指導主事学校訪問（雄島小）
17		7月8日	林、田中、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（三国西小）
18	後期	9月21日	林、牧田、田中、宮崎	指導主事学校訪問（兵庫小）
19		10月6日	林、宮崎	指導主事学校訪問（坂井中2回目）
20		10月12日	林、牧田、田中、橋本	指導主事学校訪問（春江中2回目）
21		10月13日	林、牧田、田中、橋本	指導主事学校訪問（長畝小）
22		10月21日	林、牧田、橋本	指導主事学校訪問（三国中2回目）
23		10月27日	林、田中、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（鳴鹿小）
24		10月28日	林	指導主事学校訪問（加戸小）
25		11月1日	林、橋本	指導主事学校訪問（丸岡中2回目）
26		11月2日	林、牧田	指導主事学校訪問（春江小2回目）
27		11月10日	林、牧田、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（春江東小）
28		11月11日	林、牧田、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（磯部小2回目）
29		11月15日	林、牧田、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（三国北小）
30		11月16日	林、宮崎	指導主事学校訪問（丸岡南中2回目）
31		11月22日	林、田中	指導主事学校訪問（高椋小2回目）
32		11月30日	林、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（木部小）

2-2 全国大会等出場激励会

	開催日	内 容	所管課
1	令和4年6月15日	全国大会出場激励会（ハイスクールジャパンカップソフトテニス2022）	生涯学習スポーツ課
2	7月13日	インターハイ激励会	生涯学習スポーツ課
3	7月15日	全国大会出場激励会（全国高等学校総合文化祭）（教育長欠席）	文化課
4	7月20日	全国大会出場激励会（全日本小学生ソフトテニス選手権、全日本卓球選手権大会、全国ホープス卓球大会、日本クラブ女子ソフトボール選手権大会）	生涯学習スポーツ課
5	8月3日	全国大会出場激励会（全日本少年少女空手道選手権大会、全日本バレーボール小学生大会）	生涯学習スポーツ課
6	8月4日	全国大会出場激励会（全国少年少女水泳競技大会）	生涯学習スポーツ課
7	8月8日	全国大会出場激励会（全国中学校体育大会）	学校教育課
8	8月10日	全国大会出場激励会（全国高校生グレコローマンレスリング選手権大会）	生涯学習スポーツ課
9	8月12日	全国大会出場激励会（全日本中学女子軟式野球）	生涯学習スポーツ課
10	8月12日	全国大会出場激励会（少年少女囲碁大会）	文化課
11	8月17日	全国大会出場激励会（全国中学生ビーチボール選手権大会、全国小学生陸上競技交流会、全国JOCジュニアオリンピック夏季大会）	生涯学習スポーツ課
12	8月30日	全国高等専門学校体育大会出場激励会	生涯学習スポーツ課
13	9月6日	全国大会出場激励会（国民体育大会会期前）	生涯学習スポーツ課
14	9月12日	全国大会出場激励会（ジャパンパラ水泳競技大会）	生涯学習スポーツ課
15	9月16日	全国大会出場激励会（中学女子クラブチャレンジチャンピオン大会）	生涯学習スポーツ課
16	9月16日	全国大会出場激励会（日本スポーツマスターズ）	生涯学習スポーツ課
17	9月22日	全国大会出場激励会（国民体育大会）	生涯学習スポーツ課
18	9月22日	全国大会出場激励会（Seoul International Dance Carnival）	文化課
19	9月22日	全国大会出場激励会（全国高等学校ロボット競技大会）	文化課
20	9月26日	全国大会出場激励会（リレーフェスティバル）	生涯学習スポーツ課
21	10月17日	全国大会出場激励会（U-16陸上競技大会）	生涯学習スポーツ課
22	10月24日	全国大会出場激励会（全日本卓球選手権大会）	生涯学習スポーツ課
23	12月5日	全国大会出場激励会（バトントワーリング全国大会）	生涯学習スポーツ課
24	12月9日	全国大会優勝報告会（Seoul International Dance Carnival）	文化課
25	12月16日	全国大会出場激励会（全国小学生バドミントン選手権大会、全国都道府県対抗バレーボール大会）	生涯学習スポーツ課
26	12月20日	全国大会出場激励会（全国高校サッカー選手権大会）	生涯学習スポーツ課
27	12月26日	全国大会出場激励会（全日本U15女子フットサル選手権大会）	生涯学習スポーツ課
28	12月27日	全国大会出場激励会（全日本U15フットサル選手権大会、U15バスケットボール選手権大会）	生涯学習スポーツ課
29	令和5年1月30日	全国大会出場激励会（日本陸上競技選手権大会・室内競技）	生涯学習スポーツ課
30	2月13日	全国大会出場激励会（全日本女子フットサル選手権大会、地域女子チャンピオンズリーグ）	生涯学習スポーツ課

2-2 全国大会等出場激励会

	開催日	内 容	所管課
31	3月2日	全国大会出場激励会（全国卓球バレー選抜大会）	生涯学習スポーツ課
32	3月6日	全国大会出場激励会（全国高等学校選抜自転車競技大会）	生涯学習スポーツ課
33	3月13日	全国大会出場激励会（選抜高等学校野球大会）	生涯学習スポーツ課
34	3月14日	全国大会出場激励会（全日本社会人バスケットボールチャンピオンシップ）	生涯学習スポーツ課
35	3月20日	全国大会出場激励会（全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会・ソフトテニス競技大会・レスリング競技大会、全国小学生ソフトテニス大会、全国ホープス選抜卓球大会、全日本中学女子ソフトボール大会、全日本中学生ソフトテニス大会、全日本UJフレッシュボクシング大会、全国JOCジュニアオリンピック春季大会、日本リトルシニア全国選抜野球大会、全日本バトントワーリングジュニア選手権大会）	生涯学習スポーツ課
36	3月20日	全国大会出場激励会（ボンド杯争奪全日本こども囲碁チャンピオン戦）	文化課
37	3月22日	全国大会出場激励会（小倉百人一首競技かるた全国小・中学生選手権大会）	文化課

※教育長が出席

26 12月20日、全国大会出場激励会（全国高校サッカー選手権）は、教育長、牧田委員、田中委員、橋本委員が出席

3 委員会、審議会等の審議状況

名 称	委員数	会 議 開催数	件 名	種別	年月日
坂井市教育支援委員会	38(28)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会 園児児童生徒の就学先個別判断・決定について ・教育支援委員専門委員会 園児児童生徒の就学相談について 	協議	R4.4.20 R4.7.6 R4.8.3 R4.8.17 R4.11.9 R5.1.11
坂井市社会教育委員の会	15(5)	3	第1回 <ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱 ・令和4年度社会教育関係事業の概要について ・令和4年度社会教育委員の会議運営について 第2回 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度社会教育事業等報告 ・坂井市生涯学習講演会について 第3回 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度社会教育事業等報告 ・令和5年度社会教育事業計画 	協議	R4.6.8 R4.9.8 R5.2.20
坂井市スポーツ推進委員会	37(10)	8	<ul style="list-style-type: none"> ・副部長の選出 ・会計の選出 ・今後の検討事項 ・CATV撮影 ・懇親会の開催 ・市民スポーツ祭の競技種目 ・ディスクドッジ審判講習会 ・広報委員会設立の検討 ・事業部会の自主企画の開催の可否 ・委員研修 	協議	R4.4.20 R4.5.18 R4.5.28 R4.6.25 R4.8.30 R4.9.14 R4.2.24 R4.3.13
坂井市青少年 愛護センター運営委員会	20(5)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・愛護センターの事業報告 ・愛護センターの事業計画 ・青少年の動向 ・補導活動、相談業務 	協議	R4.7.7 R4.12.2
ワールド マスターズゲームズ2021関西 坂井市実行委員会	17(0)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回総会 ・委員及び事務局員の変更 ・会長専決処分承認 ・令和3年度事業報告 ・令和3年度収支決算報告 ・令和4年度事業計画 ・令和4年度収支予算 	協議	R4.5.25

3 委員会、審議会等の審議状況

名 称	委員数	会 議 開催数	件 名	種別	年月日
坂井市文化財保護審議会	10(2)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長の選任について ・文化財等の調査計画について ・令和4年度の文化財指定候補について ・坂井市文化財保存活用地域計画の進捗について ・みくに龍翔館見学 書面報告 <ul style="list-style-type: none"> ・瀧谷寺所蔵絵画「涅槃図・当麻曼荼羅図」について ・三國神社拝殿向拝 群猿像調査について ・令和4年度国史跡六呂瀬山古墳群発掘調査について ・史跡・名勝・天然記念物現状変更に伴う許可について ・令和5年度第1回文化財保護審議会の開催時期について ・観光交流課からのお知らせ 	会議 書面 報告	R4.6.14 R5.3.3
坂井市文化未来会議	12(5)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の主な文化振興事業等について ・文化振興事業等の事業経過および視察研修について ・先進地視察研修(石川県能美市・金沢市: 能美ふるさとミュージアム・石川県立図書館) (資料送付2回) 	会議 視察	R4.8.5 R5.2.7
坂井市一筆啓上日本一 短い手紙の館運営審議会	6(2)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画について ・令和4年度の事業経過および次年度の運営計画について 	会議	R4.8.2 R5.3.17
六呂瀬山古墳群調査整備 委員会	4(0)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長の選任について ・令和4年度の調査成果まとめ ・今後の整備計画について ・保存活用計画等の進め方について ・六呂瀬山1号墳墳頂主体部の発掘調査について 	会議	R4.10.31 R5.2.21
坂井市文化財保存活用地域 計画協議会	19(2)	0	※本市地域計画が令和4年7月22日に文化庁認定。これをもって委員の任期満了。		
みくに龍翔館リニューアル検 討委員会	7(1)	0	・会議の開催なし		
坂井市図書館協議会	11(7)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の概要について ・令和3年度坂井市立図書館利用状況 ・令和3年度主要事業・各館の行事報告 ・令和3年度決算報告について ・令和4年度事業計画について ・令和4年度主要事業・各館の行事および予算の概要について 	協議	R4.7.21 R5.3.24

※委員数のうち()内は女性の委員数

4 教育委員会関係の許認可の状況

(1) 文化財の指定状況

<指定文化財の現状>

令和5年3月31日現在

区 分	国			県指定	市		計
	指定	選定・選択	登録		指定	登録	
国 宝	1						1
重要文化財	9						9
有形文化財			12	20	34	3	69
無形文化財							0
重要有形民俗文化財							0
有形民俗文化財					1		1
重要無形民俗文化財							0
無形民俗文化財				6	6		12
特別史跡							0
史 跡	2			3	12	3	20
特別名勝							0
名 勝	1						1
特別天然記念物							0
天然記念物	1			3	6		10
特別名勝天然記念物							0
名勝天然記念物	1						1
重要伝統的建造物群 保存地区							0
選定保存技術							0
登録記念物			1				1
合 計	15	0	13	32	59	6	125

※令和4年度は増減なし

IV 教育委員会関係事業の取組実績

令和4年度事業別施策の成果報告書

坂井市教育委員会

予 算 款	10 教育費	項 01 教育総務費	目 01 教育委員会費
大事業	001	教育委員会運営事業	
		決 算 書 P. 201	
中事業	01	教育委員会運営事業	
		所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額
	3,044 千円	2,686 千円	358 千円
前年度	3,019 千円	2,586 千円	433 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円
【事業の目的】 生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進するため、教育委員会および総合教育会議を開催する。また、学校教育、社会教育、体育および芸術分野で優秀な成績を収め、活躍した人などを表彰し、一層の振興を図る。			
【事業の概要】			
◆教育委員会運営事業		2,489 千円	
○報酬	教育委員4名		2,400 千円
○報償費	協力者謝礼		2 千円
○旅費	費用弁償		2 千円
○需用費	印刷製本費		30 千円
○使用料	有料道路通行料		3 千円
○負担金	県市町教育委員会連絡協議会負担金		52 千円
◆教育委員会表彰事業		197 千円	
○報償費	記念品等		179 千円
○需用費	消耗品費、印刷製本費		18 千円
【事業の成果等】 月1回の定例会および臨時会を合わせて教育委員会を14回、また、総合教育会議を1回開催し、教育行政について協議を行った。			

予 算 款	10 教育費	項 01 教育総務費	目 02 事務局費
大事業	051	教育委員会事務局事業	
		決 算 書 P. 203	
中事業	01	教育委員会事務局事業	
		所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課
予算額	当初 補2 補3	決 算 額	不 用 額
	23,261 千円	19,464 千円	3,797 千円
前年度	39,834 千円	29,011 千円	10,823 千円
主な 特定 財源	国庫支出金 寄附金 諸収入	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 指定寄附金 奨学育英資金貸付金元利収入	11,100 千円 1,500 千円 1,572 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円
【事業の目的】 教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図る。また、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、各種対策を講じる。			
【事業の概要】			
◆教育委員会事務局事業		8,359 千円	
○報酬	会計年度任用職員		1,713 千円
○職員手当等	期末手当		214 千円
○旅費	費用弁償、特別旅費		86 千円
○交際費	教育長交際費		93 千円
○需用費	消耗品費、食糧費		194 千円
○役務費	ETCコーポレートカード取扱手数料他		1 千円
○委託料	中高連絡協議会事業委託料他		838 千円
○賃借料	車両借上料、駐車場使用料		9 千円
○使用料	有料道路通行料		6 千円
○負担金	坂井地区教育振興会負担金他		3,215 千円
○補助金	小中学校教育振興費奨励金他		1,990 千円
◆新型コロナウイルス対策事業		11,105 千円	
○需用費	新型コロナウイルス対策消耗品費		32 千円
○委託料	施設管理委託料		9,486 千円
○備品購入費	施設用備品購入費		1,587 千円
【事業の成果等】 教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会等への支援を行い教育振興に取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、清掃業務の委託や感染対策の消耗品・備品の購入などにより拡大防止に努めた。			

予 算 款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
大 事 業	051	小学校管理事業						決 算 書
								P. 203
中 事 業	01	小学校管理事業	所管	教育委員会事務局				
			部局	教育総務課				
予算額	当初	補5	決 算 額		不 用 額			
	427,804 千円		414,323 千円		13,481 千円			
前年度	433,862 千円		387,901 千円		45,961 千円			
主な	国庫支出金	学校保健特別対策事業費補助金		10,328 千円				
特定	国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		8,450 千円				
財源	繰入金	まちづくり整備基金繰入金		75,000 千円				
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額	0 千円				
【上記決算額内訳】								
当該年度分	予 算 額	407,104 千円		決 算 額	393,666 千円			
前年度繰越分	繰越分予算額	20,700 千円		繰越分決算額	20,657 千円			
【事業の目的】								
<p>小学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内19小学校の適正な維持管理を行う。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒液などの消耗品や備品を購入するなど、感染拡大防止を図る。</p>								
【事業の概要】								
◆	小学校管理事業	本庁	269,946 千円					
	○報酬	会計年度任用職員・事務職	1,546 千円					
	○給料	会計年度任用職員・用務員	18,050 千円					
	○職員手当等	通勤手当、期末手当	4,031 千円					
	○旅費	普通旅費	304 千円					
	○需用費	修繕料他	29,676 千円					
	○役務費	通信運搬費、火災保険料他	7,037 千円					
	○委託料	各種保守点検委託料他	53,748 千円					
	○使用料	Webフィルタリング使用料他	5,373 千円					
	○賃借料	土地借上料、電算機器借上料他	78,132 千円					
	○工事請負費	平章小学校屋内運動場建具改修工事他	66,988 千円					
	○原材料費	机天板、椅子座面、グラウンド安定剤他	1,537 千円					
	○備品購入費	緊急地震速報装置他	3,524 千円					
【次頁へ】…								

予 算 款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
大 事 業	051	小学校管理事業						決 算 書
								P. 203
中 事 業	01	小学校管理事業	所管	教育委員会事務局				
			部局	教育総務課				
…【前頁より】								
◆	小学校管理事業	各小学校（市内19校）	144,377 千円					
	○需用費			118,468 千円				
		消耗品費	17,357 千円					
		燃料費	6,895 千円					
		食糧費	52 千円					
		光熱水費	87,548 千円					
		修繕料	5,926 千円					
		医薬材料費	690 千円					
	○役務費	郵便料、電話料、ピアノ調律手数料	5,436 千円					
	○委託料	各種保守点検委託料、樹木等管理委託料	3,829 千円					
	○賃借料	コピー機リース料、車両借上料他	397 千円					
	○工事請負費	網戸取付工事他	1,122 千円					
	○備品購入費	空気清浄機、ジェットヒーター他	15,125 千円					
【事業の成果等】								
<p>小学校の適正な維持管理に努めた。</p> <p>また、各小学校において新型コロナウイルス感染症に対する各種対策を実施し、感染拡大防止に努めた。</p>								

予算款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
大事業	101	小学校施設整備事業				決算書 P. 207		
中事業	01	小学校施設整備事業				所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課	
予算額	当初 補8		決算額		不用額(翌年度繰越含む)			
	2,088,180 千円		849,781 千円		1,238,399 千円			
前年度	1,385,870 千円		522,106 千円		863,764 千円			
主な 特定 財源	国庫支出金	学校施設環境改善交付金			184,495 千円			
	市債	合併特例事業債			388,900 千円			
	市債	学校教育施設等整備事業債			132,600 千円			
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額	0 千円				
【上記決算額内訳】								
当該年度分	予算額	1,257,260 千円		決算額	28,543 千円			
前年度繰越分	繰越分予算額	830,920 千円		繰越分決算額	821,238 千円			
	翌年度への繰越額		1,228,260 千円					
【事業の目的】								
学校施設の経年使用による損傷を改修し、建物の耐久性を高めるとともに、その機能や性能を高める改修をすることにより、建物の長寿命化や教育環境の改善を図る。								
【事業の概要】								
○委託料 43,030 千円								
大規模改造工事監理委託料(雄島・磯部・明章小) 14,487 千円								
長寿命化改良工事設計業務委託料(加戸・長畝小) 27,575 千円								
電算機器移設等作業委託料(雄島・磯部・明章小) 968 千円								
○工事請負費 806,751 千円								
雄島小学校大規模改造工事<Ⅰ期> 310,310 千円								
磯部小学校大規模改造工事 202,884 千円								
明章小学校大規模改造工事<Ⅱ期> 288,794 千円								
加戸小学校音楽室空調設備改修工事 4,763 千円								
(翌年度繰越)								
○委託料 工事監理委託料(雄島・加戸・長畝小) 21,570 千円								
○工事請負費 1,206,690 千円								
雄島小学校大規模改造工事<Ⅱ期> 365,690 千円								
加戸小学校長寿命化改良工事<Ⅰ期> 367,000 千円								
長畝小学校長寿命化改良工事 474,000 千円								
【事業の成果等】								
教育環境の整備・改善のため、大規模改造工事3校と空調工事1校、校長長寿命化改良工事に向けて設計業務委託2校を行った。								
長寿命化改良工事等3校分については、翌年度へ繰り越して、小学校の環境整備を図る。								

予算款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
大事業	051	中学校管理事業				決算書 P. 209		
中事業	01	中学校管理事業				所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課	
予算額	当初 補2 補5		決算額		不用額			
	150,479 千円		147,167 千円		3,312 千円			
前年度	151,223 千円		138,319 千円		12,904 千円			
主な 特定 財源	国庫支出金	学校保健特別対策事業費補助金			4,047 千円			
	国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			3,550 千円			
	繰入金	まちづくり整備基金繰入金			9,200 千円			
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額	0 千円				
【上記決算額内訳】								
当該年度分	予算額	142,379 千円		決算額	139,073 千円			
前年度繰越分	繰越分予算額	8,100 千円		繰越分決算額	8,094 千円			
【事業の目的】								
中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内5中学校の適正な維持管理を行う。								
新型コロナウイルス感染症対策のため、アクリルパーテーションなどの消耗品・備品を購入するなど、感染拡大防止を図る。								
【事業の概要】								
◆中学校管理事業 本庁 72,102 千円								
○旅費 普通旅費 15 千円								
○需用費 修繕料他 6,256 千円								
○役務費 通信運搬費、火災保険料他 1,803 千円								
○委託料 各種保守点検委託料他 26,947 千円								
○使用料 Webフィルタリング使用料他 1,425 千円								
○賃借料 土地借上料、電算機器借上料他 26,099 千円								
○工事請負費 丸岡中学校非常階段塗装工事他 7,740 千円								
○原材料費 机天板、椅子座面、グラウンド安定剤 620 千円								
○備品購入費 生徒机椅子、教職員椅子他 1,197 千円								
◆中学校管理事業 各中学校(市内5校) 75,065 千円								
○需用費 消耗品費、光熱水費他 64,819 千円								
○役務費 郵便料、電話料、ピアノ調律手数料 2,581 千円								
○委託料 各種保守点検委託料、樹木等管理委託料 1,413 千円								
○賃借料 コピー機リース料、テントリース料他 422 千円								
○工事請負費 網戸取付工事 125 千円								
○備品購入費 空気清浄機、ストーブ他 5,705 千円								
【事業の成果等】								
中学校の適正な維持管理に努めた。								
また、各中学校において新型コロナウイルス感染症に対する各種対策を実施し、感染拡大防止に努めた。								

予 算 款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費	
大 事 業	101	中学校施設整備事業						決 算 書 P. 211	
中 事 業	01	中学校施設整備事業	所管 部局					教育委員会事務局 教育総務課	
予算額	繰越		決 算 額		不 用 額				
	120,000 千円		105,863 千円		14,137 千円				
前年度	123,000 千円		1,089 千円		121,911 千円				
主な 特定 財源	国庫支出金	学校施設環境改善交付金	34,360 千円						
			千円						
			千円						
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額	0 千円					
【上記決算額内訳】									
当該年度分	予 算 額	0 千円		決 算 額	0 千円				
前年度繰越分	繰越分予算額	120,000 千円		繰越分決算額	105,863 千円				
【事業の目的】									
市内全中学校において、空調設備が未整備である美術室や技術室等の特別教室へ空調設備の整備を行う。									
【事業の概要】									
○工事請負費 中学校特別教室空調工事 105,863 千円									
施工場所：全中学校									
整備内容：美術室、技術室等の特別教室への空調設備新規設置 受変電設備の改修（三国・丸岡南・春江中）									
【事業の成果等】									
中学校の特別教室に空調設備を設置し、学習環境の改善を図った。									

予 算 款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	14	教育振興整備基金費	
大 事 業	001	教育振興整備基金						決 算 書 P. 237	
中 事 業	01	教育振興整備基金	所管 部局					教育委員会事務局 教育総務課	
予算額	当初 補10		決 算 額		不 用 額				
	156 千円		151 千円		5 千円				
前年度	5 千円		1 千円		4 千円				
主な 特定 財源	財産収入	教育振興整備基金利子	1 千円						
	寄附金	指定寄附金	150 千円						
			千円						
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額	0 千円					
【事業の目的】									
坂井市の将来を担う子どもたちを、健全に育成することを目的とした教育の振興および教育施設の環境整備に必要な財源に充てるため、教育振興整備基金を設置している。									
【事業の概要】									
○積立金 指定寄附金・教育振興整備基金利子 151 千円									
(参考) 教育振興整備基金の状況 (単位：千円)									
令和3年度末		令和4年度中増減額			令和4年度末				
現在高	①	取崩額	②	積立額	③	現在高①-②+③			
	50,496		957		151	49,690			
【事業の成果等】									
指定寄附金や利子を積み立てるなど、適切に基金管理を行った。									

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大	事	業	051	教育相談事業	決算書 P. 201				
中	事	業	01	教育相談事業	所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課			
予算額	当初	決算額		不用額					
17,548千円		16,660千円		888千円					
前年度	17,498千円	16,889千円		609千円					
主な 特定 財源	県支出金	スクールソーシャルワーカー活用事業委託金		2,576千円					
予算流用(増減)額		0千円		予備費充用額 0千円					
【事業の目的】 市内小中学校の児童生徒の不登校対策として、早期の学級復帰、社会的自立への支援、併せて保護者に対して子どもの理解や対応に関する指導等、教育相談業務の充実を図る。									
【事業の概要】									
◆教育相談事業			11,644千円						
○報酬	指導員4名、訪問員1名			9,229千円					
○職員手当等	期末手当			1,070千円					
○報償費	協力者謝礼他			302千円					
○旅費	費用弁償、普通旅費			224千円					
○需用費	消耗品費、光熱水費他			482千円					
○役務費	電話料、火災保険料			81千円					
○委託料	各種保守点検料他			102千円					
○使用料	インターネット使用料			51千円					
○賃借料	電算機器、車両借上料			48千円					
○備品購入費	教材用備品購入費			50千円					
○負担金	全国適応指導教室連絡協議会会費			5千円					
◆スクールソーシャルワーカー活用事業			5,016千円						
○報酬	スクールソーシャルワーカー(SSW)2名			4,394千円					
○職員手当等	費用弁償2名			476千円					
○旅費				146千円					
【事業の成果等】 不登校の児童生徒に対し、適応指導教室と学校が連携して保護者支援や児童生徒の個別指導を行った。また、スクールソーシャルワーカーが学校と連携することにより福祉関係機関につなげるなど、児童生徒本人やその家庭に対して支援を行った。									
【事業の実績値等】									
		R4実績	R3実績						
教育相談件数(教育支援センター分)		376件	432件						
適応指導教室通室者復帰率		75.0%	82.3%						
SSW訪問活動のべ数		504回	474回						

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大	事	業	101	学校・学級運営支援事業	決算書 P. 201				
中	事	業	01	学校・学級運営支援事業	所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課			
予算額	当初	決算額		不用額					
122,744千円		104,194千円		18,550千円					
前年度	118,041千円	103,304千円		14,737千円					
主な 特定 財源	県支出金	学校運営支援員配置事業補助金		4,526千円					
繰入金		寄附市民参画基金繰入金		1,650千円					
予算流用(増減)額		0千円		予備費充用額 0千円					
【事業の目的】 市内の小中学校における学級運営の円滑化のため、学習面、生活面で特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行う学級サポーターを配置するなど、教育環境の充実を図る。 また、専門知識を有する英語教科指導員、特別支援教育指導員を配置して、児童生徒に対する支援体制を強化する。									
【事業の概要】									
◆学級運営支援事業			97,399千円						
○報酬	学級サポーター			75,919千円					
○給料	教科指導員			5,575千円					
○職員手当等	通勤手当、期末手当			11,677千円					
○旅費	費用弁償			2,258千円					
○委託料	業務システム導入委託料他			1,884千円					
○使用料	入場料			4千円					
○賃借料	車両借上料			82千円					
◆学校運営支援事業			6,795千円						
○報酬			【負担割合】 県 2/3 市 1/3			6,795千円			
学校運営支援員									
【事業の成果等】 発達障がい等により、学習面や生活面で特別に支援を必要とする児童生徒のために、学級サポーターを配置し、対象となる児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化を図った。 英語教科指導員による小学校教員のスキルアップ、特別支援教育指導員による教員や児童生徒への適切な支援を行った。 また、学校運営支援員を配置して教員の事務負担軽減を図った。									
【事業の実績値等】									
		R4実績	R3実績						
学級サポーター数		68人	71人						
学校運営支援員数		21人	21人						

予 算 款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大 事 業	001	小学校教育振興事業				決 算 書 P. 207		
中 事 業	01	小学校教育振興事業				所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課	
予 算 額	当 初	補 2	決 算 額		不 用 額			
	93,457 千円		85,090 千円		8,367 千円			
前年度	102,100 千円		90,651 千円		11,449 千円			
主 な 財 源	県支出金	環境・エネルギー教育支援事業補助金				2,399 千円		
	特定 繰入金	寄附市民参画基金繰入金				35,699 千円		
	繰入金	教育振興整備基金繰入金				957 千円		
予 算 流 用 (増 減) 額	0 千円		予 備 費 充 用 額	0 千円				
【事業の目的】 創意工夫された教育活動を展開する中で、主体的・対話的で深い学びを実現し、児童にこれからの社会において必要となる「生きる力」を育む教育の充実を図る。								
【事業の概要】								
◆ 小学校教育振興事業 本庁 60,069 千円								
○ 報酬 外国語指導助手 8名 5,409 千円								
○ 報償費 卒業記念品他 913 千円								
○ 需用費 教材用消耗品費、教育用印刷費 2,174 千円								
○ 委託料 プール学習授業実施委託料他 2,229 千円								
○ 使用料及び賃借料 42,424 千円								
校外活動車両借上料 13,211 千円								
授業支援ソフト使用料 9,900 千円								
デジタルドリル使用料 10,692 千円								
教育用AIロボット使用料他 8,621 千円								
○ 備品購入費 図書購入費 6,487 千円								
○ 負担金 坂井地区特別支援学級合同研修会負担金他 433 千円								
◆ 小学校教育振興事業 各小学校（市内19校） 18,522 千円								
○ 報償費 協力者謝礼 85 千円								
○ 需用費 10,924 千円								
教材用消耗品費 10,426 千円								
印刷製本費 161 千円								
教材備品修繕料 337 千円								
○ 備品購入費 教材用備品 7,513 千円								
◆ 環境・エネルギー教育支援事業 2,399 千円								
【実施校】 市内11小学校 【負担割合】 県 10/10								
○ 備品購入費 理科教材用備品購入費 2,399 千円								
【次頁へ】...								

予 算 款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費																																		
大 事 業	001	小学校教育振興事業				決 算 書 P. 207																																				
中 事 業	01	小学校教育振興事業				所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課																																			
…【前頁より】																																										
◆ 地域と進める体験推進事業 4,100 千円																																										
【実施校】 3校（県事業対象）+16校（県事業対象外）																																										
【負担割合】 県1/2（1校100千円限度）、市1/2																																										
○ 委託料 地域と進める体験学習業務委託料 4,100 千円																																										
小学校1校あたり300千円・3校分 900 千円																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施校</th> <th>主な活動計画内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明章小</td> <td>農業体験（米・さつまいも作り）、葉っぱすしづくり体験</td> </tr> <tr> <td>春江東小</td> <td>アーモンドの収穫、染め体験、看板製作</td> </tr> <tr> <td>木部小</td> <td>笹もち作り、地区の商店・工場へのインタビューや作業体験</td> </tr> </tbody> </table>									実施校	主な活動計画内容	明章小	農業体験（米・さつまいも作り）、葉っぱすしづくり体験	春江東小	アーモンドの収穫、染め体験、看板製作	木部小	笹もち作り、地区の商店・工場へのインタビューや作業体験																										
実施校	主な活動計画内容																																									
明章小	農業体験（米・さつまいも作り）、葉っぱすしづくり体験																																									
春江東小	アーモンドの収穫、染め体験、看板製作																																									
木部小	笹もち作り、地区の商店・工場へのインタビューや作業体験																																									
※ 県補助によるふるさとの魅力発信推進事業																																										
小学校1校あたり200千円・16校分 3,200 千円																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施校</th> <th>主な活動計画内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三国南小</td> <td>農業体験、地域のよさ再発見活動、味噌づくり体験</td> </tr> <tr> <td>三国北小</td> <td>バリアフリー探し、縦割りのウォークラリー（三国の歴史的構造物）</td> </tr> <tr> <td>雄島小</td> <td>磯観察、縦割りのオリエンテーリング、サーフィン体験</td> </tr> <tr> <td>加戸小</td> <td>さつまいもづくり、お茶の栽培、お茶栽培の取り組み発表</td> </tr> <tr> <td>三国西小</td> <td>らっきょう漬け体験、地域の農業の学習</td> </tr> <tr> <td>平章小</td> <td>丸岡城の学習、花の育成、地元企業の見学・体験</td> </tr> <tr> <td>長畝小</td> <td>豆腐づくり体験、市内施設訪問・体験学習</td> </tr> <tr> <td>高椋小</td> <td>野菜づくり・加工体験、味噌づくり、福祉の学習</td> </tr> <tr> <td>鳴鹿小</td> <td>農業体験（米・野菜づくり）、豆腐づくり見学・体験</td> </tr> <tr> <td>磯部小</td> <td>地域の生き物調査、地域の魅力学習・調査・発表</td> </tr> <tr> <td>春江小</td> <td>防災学習・発表（講演会、非常食体験、企業訪問）</td> </tr> <tr> <td>春江西小</td> <td>農業体験、感謝の集会の企画、市内の工場や施設見学</td> </tr> <tr> <td>大石小</td> <td>花いっぱいのもちづくり運動、ふるさとを魅力的にする提案</td> </tr> <tr> <td>東十郷小</td> <td>農業体験、花いっぱい運動、お茶・生け花体験、かざぐるま作り</td> </tr> <tr> <td>大関小</td> <td>米づくり体験、ゴミ問題やSDGsの学習、市内の職場見学</td> </tr> <tr> <td>兵庫小</td> <td>米づくり体験、米生産の学習・発表、福祉学習</td> </tr> </tbody> </table>									実施校	主な活動計画内容	三国南小	農業体験、地域のよさ再発見活動、味噌づくり体験	三国北小	バリアフリー探し、縦割りのウォークラリー（三国の歴史的構造物）	雄島小	磯観察、縦割りのオリエンテーリング、サーフィン体験	加戸小	さつまいもづくり、お茶の栽培、お茶栽培の取り組み発表	三国西小	らっきょう漬け体験、地域の農業の学習	平章小	丸岡城の学習、花の育成、地元企業の見学・体験	長畝小	豆腐づくり体験、市内施設訪問・体験学習	高椋小	野菜づくり・加工体験、味噌づくり、福祉の学習	鳴鹿小	農業体験（米・野菜づくり）、豆腐づくり見学・体験	磯部小	地域の生き物調査、地域の魅力学習・調査・発表	春江小	防災学習・発表（講演会、非常食体験、企業訪問）	春江西小	農業体験、感謝の集会の企画、市内の工場や施設見学	大石小	花いっぱいのもちづくり運動、ふるさとを魅力的にする提案	東十郷小	農業体験、花いっぱい運動、お茶・生け花体験、かざぐるま作り	大関小	米づくり体験、ゴミ問題やSDGsの学習、市内の職場見学	兵庫小	米づくり体験、米生産の学習・発表、福祉学習
実施校	主な活動計画内容																																									
三国南小	農業体験、地域のよさ再発見活動、味噌づくり体験																																									
三国北小	バリアフリー探し、縦割りのウォークラリー（三国の歴史的構造物）																																									
雄島小	磯観察、縦割りのオリエンテーリング、サーフィン体験																																									
加戸小	さつまいもづくり、お茶の栽培、お茶栽培の取り組み発表																																									
三国西小	らっきょう漬け体験、地域の農業の学習																																									
平章小	丸岡城の学習、花の育成、地元企業の見学・体験																																									
長畝小	豆腐づくり体験、市内施設訪問・体験学習																																									
高椋小	野菜づくり・加工体験、味噌づくり、福祉の学習																																									
鳴鹿小	農業体験（米・野菜づくり）、豆腐づくり見学・体験																																									
磯部小	地域の生き物調査、地域の魅力学習・調査・発表																																									
春江小	防災学習・発表（講演会、非常食体験、企業訪問）																																									
春江西小	農業体験、感謝の集会の企画、市内の工場や施設見学																																									
大石小	花いっぱいのもちづくり運動、ふるさとを魅力的にする提案																																									
東十郷小	農業体験、花いっぱい運動、お茶・生け花体験、かざぐるま作り																																									
大関小	米づくり体験、ゴミ問題やSDGsの学習、市内の職場見学																																									
兵庫小	米づくり体験、米生産の学習・発表、福祉学習																																									
【事業の成果等】																																										
新型コロナウイルス感染症により学習活動が制限された中ではあったが、各学校や教員が創意工夫をして教育活動が展開された。また、タブレット端末の持ち帰り学習を本格的に推進した。																																										
寄附金を利用して授業支援ソフト、デジタルドリル等の活用や学校図書の実用を図ることができた。																																										
地域と進める体験推進事業により、各学校で特色のある体験活動を展開できた。																																										

予 算 款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大 事 業	001	小学校教育振興事業				決 算 書 P. 207		
中 事 業	06	小学校児童健康管理事業				所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課	
予算額	当初		決 算 額		不 用 額			
	18,476 千円		17,995 千円		481 千円			
前年度	17,647 千円		17,265 千円		382 千円			
主な 特定 財源	県支出金	子どもの目と歯の健康プロジェクト事業補助金				141 千円		
	諸収入	日本スポーツ振興センター負担金				2,188 千円		
						千円		
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額	0 千円				
【事業の目的】 児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。								
【事業の概要】 学校保健安全法に基づき、児童の健康管理のため各種健康診断を行う。 ・内科および歯科（全学年）、眼科（2年・5年）、耳鼻科（1年～3年） ・寄生虫（1年～3年）、尿（全学年）、心電図（1年）								
	○報償費	医師・歯科医師・薬剤師手当	9,892 千円					
	○需用費	保健衛生用消耗品・印刷製本費	351 千円					
	○役務費	特定自主検査手数料	720 千円					
	○委託料	健康診断委託料	2,613 千円					
	○負担金	日本スポーツ振興センター負担金	4,419 千円					
		加入者数	4,753 人					
【事業の成果等】 学校医と学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭が児童一人ひとりの健康課題について指導を行い、児童の健康の保持増進を図った。 また、県の補助を受け、秋の歯科健診を実施し、保健指導、経過観察および治療への継続的なケアを行い、むし歯予防対策を行った。								
【事業の実績値等】								
		R4実績	R3実績					
	スポーツ保険給付件数	162件	182件					

予 算 款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大 事 業	001	小学校教育振興事業				決 算 書 P. 207		
中 事 業	21	学校生活ボランティア推進事業				所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課	
予算額	当初		決 算 額		不 用 額			
	168 千円		55 千円		113 千円			
前年度	168 千円		50 千円		118 千円			
主な 特定 財源	県支出金	学校生活ボランティア推進事業費補助金				55 千円		
						千円		
						千円		
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額	0 千円				
【事業の目的】 学校活動において、保護者や地域ボランティアの協力を得ながら児童の学校の生活を支援することで、地域と連携したきめ細かな教育体制の充実を図る。								
【事業の概要】 ○役務費 傷害保険料 55 千円 加入者数 156人								
【事業の成果等】 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動場面が限られた中ではあったが、読み聞かせや収穫体験、クラブ活動等に対し、学校生活ボランティアとして地域住民の協力を得ることができた。								
【事業の実績値等】								
		R4実績	R3実績					
	加入者数	156人	144人					

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大	事	業	001	小学校教育振興事業			決算書 P. 207		
中	事	業	26	ふれあい交流事業			所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課	
予算額	当初	流用	決算額			不用額			
	1,294	千円	896	千円	398	千円			
前年度	3,802	千円	623	千円	3,179	千円			
主な 特定 財源							千円 千円 千円		
予算流用(増減)額	△ 2,508 千円			予備費充用額	0 千円				
【事業の目的】 市内の他校の児童や中学生などと様々な交流を進めることで、「互いに認め合い、助け合い、励ましあう」豊かな人間性の育成を図る。									
【事業の概要】									
○委託料	圃場管理委託料、小学校音楽会運営業務委託			199		千円			
○賃借料	車両借上料			697		千円			
【事業の成果等】 新型コロナウイルス感染症の影響により、音楽交流会や連合運動会は中止となった。一方で、小学6年生が進学先の中学校を訪問する小中連携事業を実施し、交流促進を図ることができた。									

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大	事	業	001	小学校教育振興事業			決算書 P. 209		
中	事	業	31	学力充実推進事業			所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課	
予算額	当初	流用	決算額			不用額			
	2,180	千円	2,030	千円	150	千円			
前年度	2,230	千円	2,114	千円	116	千円			
主な 特定 財源							千円 千円 千円		
予算流用(増減)額	0 千円			予備費充用額	0 千円				
【事業の目的】 児童一人ひとりの「確かな学力」の到達状況を正しく把握するとともに学習課題を分析し、児童の学習改善や教員の授業における工夫改善に活用するために全学年での学力調査を実施し、児童の学力向上と教員の指導力向上を図る。									
【事業の概要】									
小学校6年生を対象に行われる全国学力・学習状況調査の日程に合わせて、全小学校の2～5年生の国語と算数の2教科について坂井市学力調査を行う。 調査の結果を踏まえ、小学校の研究主任によるワークショップを開催し、各校における傾向や課題を把握し、課題の解決を進め、学力向上に向けた授業づくりの研究等を行う。									
○委託料	学力調査業務委託料			2,030		千円			
	受検者数 6,061人(2教科延べ人数)								
【事業の成果等】 全国規模のモニター調査によって標準化された「偏差値」を参考に、坂井市における児童の「確かな学力」を分析した。 また、各小学校の児童の調査結果に基づき、継続的・実践的な取り組みを進め、学力向上と教員の指導力向上を図った。									

予 算 款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大 事 業	051	児童就学援助事業			決 算 書 P. 209			
中 事 業	01	児童就学援助事業			所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	当初 流用		決 算 額		不 用 額			
	20,302 千円		20,297 千円		5 千円			
前年度	34,800 千円		20,337 千円		14,463 千円			
主な 特定 財源	国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金		1,375 千円				
	国庫支出金	要保護児童生徒援助費補助金		11 千円				
予算流用(増減)額		2,508 千円		予備費充用額		0 千円		
【事業の目的】 学校教育法第19条の規定に基づき、経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。								
【事業の概要】 経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。								
○扶助費								
				20,297 千円				
				特別支援教育就学奨励費	2,751 千円			
				要・準要保護児童就学援助費	17,546 千円			
【事業の成果等】 就学援助を必要とする児童に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。 要・準要保護児童就学援助費については、国の基準単価に基づき援助をしている。新入学の準備に必要な費用を援助するため、新入学用品準備金の早期支給を実施した。								
【事業の実績値等】								
			R4実績	R3実績				
特別支援教育就学援助人数			116人	117人				
要・準要保護児童就学援助人数			371人	382人				
※要・準要保護児童就学援助人数に新1年生入学準備金対象者を含む								

予 算 款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大 事 業	101	小学校通学支援事業			決 算 書 P. 209			
中 事 業	01	小学校通学支援事業			所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	当初		決 算 額		不 用 額			
	125,035 千円		121,217 千円		3,818 千円			
前年度	96,841 千円		94,727 千円		2,114 千円			
主な 特定 財源	諸収入	スクールバス利用者協力金		7,650 千円				
				千円				
予算流用(増減)額		0 千円		予備費充用額		0 千円		
【事業の目的】 一定距離を超える地区から市内の小学校に通学する児童を対象に、スクールバスの運行や路線バスの活用により、遠距離通学への支援を図る。								
【事業の概要】								
		区分	要 件					
		1年生～3年生	学校からの距離が、概ね1.5km以上の地区					
		4年生～6年生	学校からの距離が、概ね2.0km以上の地区 (冬期間(12月～2月)は1.5km以上の地区)					
○需用費	乗車証印刷製本費	30 千円						
○委託料	スクールバス運行	118,192 千円						
		三国地区(通年6台・冬期7台)						
		丸岡地区(通年6台・冬期8台)						
		春江地区(通年2台・冬期5台)						
		坂井地区(通年3台・冬期4台)						
○賃借料	車両借上料(三国地区)	995 千円						
○補助金	通学費補助金(三国地区)	2,000 千円						
		スクールバス停建設補助金(下久米田・小黒区) 97 千円						
【事業の成果等】 スクールバスの委託運行や通学費の補助を行うことにより、遠距離通学をする児童を支援することができた。また、第2子以降の負担金を無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減を行った。 通学バス停の改修を進め、通学環境の向上を図った。								
【事業の実績値等】								
			R4実績	R3実績				
バス利用者数			1,032人	1,169人				

予 算 款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大 事 業	001	中学校教育振興事業				決 算 書 P. 211		
中 事 業	01	中学校教育振興事業				所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課	
予算額	当初	補2	決 算 額		不 用 額			
	43,041 千円		40,995 千円		2,046 千円			
前年度	62,773 千円		60,206 千円		2,567 千円			
主な 特定 財源	県支出金	ふるさとの魅力発信推進事業補助金		100 千円				
	繰入金	寄附市民参画基金繰入金		17,274 千円				
				千円				
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額	0 千円				
【事業の目的】 創意工夫された教育活動を展開する中で、主体的・対話的で深い学びを実現し、生徒にこれからの社会において必要となる「生きる力」を育む教育の充実を図る。								
【事業の概要】								
◆中学校教育振興事業 本庁 30,649 千円								
○給料 学校図書館司書 5名 9,926 千円								
○職員手当等 通勤手当、期末手当 2,254 千円								
○報償費 卒業記念品(印鑑) 725 千円								
○旅費 普通旅費 14 千円								
○需用費 教育用印刷費 299 千円								
○使用料 13,774 千円								
授業支援ソフト使用料 4,950 千円								
デジタルドリル使用料 5,346 千円								
教育用AIロボット使用料他 3,478 千円								
○備品購入費 図書購入費 3,500 千円								
○負担金 坂井地区特別支援学級合同研修会負担金他 157 千円								
◆中学校教育振興事業 各中学校(市内5校) 9,236 千円								
○報償費 協力者謝礼 51 千円								
○需用費 6,583 千円								
教材用消耗品費 5,573 千円								
印刷製本費 627 千円								
教材用備品修繕料 383 千円								
○役務費 傷害保険料 6 千円								
○備品購入費 教材用備品購入費 2,596 千円								
【次頁へ】...								

予 算 款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大 事 業	001	中学校教育振興事業				決 算 書 P. 211		
中 事 業	01	中学校教育振興事業				所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課	
…【前頁より】								
◆キャリア教育支援事業 10 千円								
○需用費 事務用消耗品費 10 千円								
◆地域と進める体験推進事業 1100 千円								
【実施校】 1校(県事業対象)+4校(県事業対象外)								
【負担割合】 県1/2(1校100千円限度)、市1/2								
○委託料 地域と進める体験学習業務委託料 1,100 千円								
中学校1校あたり300千円・1校分 300 千円								
実施校 主な活動計画内容								
坂井中 フラワーロード大作戦(花壇・プランターの整備)								
※県補助によるふるさとの魅力発信推進事業								
中学校1校あたり200千円・4校分 800 千円								
実施校 主な活動計画内容								
三国中 職業講演会・職場体験、ふるさと地域学習								
丸岡中 職業講座、地域貢献ボランティア								
丸岡南中 福祉の学習、ふるさと地域学習、職業講座								
春江中 福祉の学習、職業講座・見学								
【事業の成果等】								
授業支援ソフトやデジタルドリル、タブレット端末を活用した学びを推進し、タブレット端末の持ち帰り学習についても本格的に実施した。								
また、学校図書館司書を配置し、学習活動や読書活動の充実を図った。								
地域と進める体験推進事業により、各中学校で特色ある体験活動を展開し、地域への誇りや愛着の醸成を図った。								

予 算 款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費	
大 事 業	001	中学校教育振興事業				決 算 書 P. 213			
中 事 業	06	中学校生徒健康管理事業				所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	当初	決 算 額		不 用 額					
		8,480 千円		8,081 千円		399 千円			
前年度		7,885 千円		7,727 千円		158 千円			
主な 特定 財源	諸収入	日本スポーツ振興センター負担金				1,173 千円			
						千円			
						千円			
予算流用(増減)額		0 千円		予備費充用額		0 千円			
【事業の目的】 中学校における生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。									
【事業の概要】 学校保健安全法に基づき、生徒の健康管理のため各種健康診断を行う。 ・内科、歯科健診の実施（全学年） ・尿（全学年）、心電図（1年）検査の実施									
○報償費	医師・歯科医師・薬剤師手当			3,186 千円					
○需用費	保健衛生用消耗品費、健診票等印刷費他			105 千円					
○役務費	特定自主検査手数料他			284 千円					
○委託料	健康診断委託料			2,135 千円					
○負担金	日本スポーツ振興センター負担金			2,371 千円					
	加入者数	2,553人							
【事業の成果等】 学校医と学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭が生徒一人ひとりの健康課題について指導を行い、生徒の健康保持・増進を図った。									
【事業の実績値等】									
		R4実績		R3実績					
	スポーツ保険給付件数	275件		321件					

予 算 款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費	
大 事 業	001	中学校教育振興事業				決 算 書 P. 213			
中 事 業	16	クラブ活動推進事業				所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	当初	補3	決 算 額		不 用 額				
			30,446 千円		26,572 千円		3,874 千円		
前年度			28,500 千円		24,909 千円		3,591 千円		
主な 特定 財源	県支出金	部活動指導員配置促進事業補助金				2,431 千円			
	県支出金	地域スポーツ指導者配置事業補助金				402 千円			
						千円			
予算流用(増減)額		0 千円		予備費充用額		0 千円			
【事業の目的】 学校教育の一環として、課外活動であるクラブ活動を実施し、技術力・競技力の向上を図るとともに、出場する大会などの部活動の実践の機会を支援することにより、生徒の自主性、意欲の向上、集団としての規律等の社会性を育てる。									
【事業の概要】									
◆クラブ活動推進事業					21,628 千円				
○報償費	激励費			4,488 千円					
		部活動において大会等（北信越中学校総合競技大会、全国中学校体育大会等）に出場する生徒および指導者に対する経費の一部を支給する。							
		北信越中学校総合競技大会（長野県）		2,881 千円					
		団体7種目103人・個人6種目47人							
		【出場種目】バレーボール（女）、剣道（男）、サッカー、ソフトテニス（男女）、柔道（男女）、卓球（男女）、陸上（男女）、新体操、バスケットボール（男）							
		全国中学校体育大会（北海道・東北ブロック）		941 千円					
		【出場種目】陸上（男）・サッカー・柔道（男女）・剣道（男女）							
		北陸吹奏楽コンクール（石川県金沢市）		578 千円					
		中部日本吹奏楽コンクール（福井県福井市）		54 千円					
		北陸アンサンブルコンテスト（福井県福井市）		25 千円					
		中部日本個人・重奏コンテスト本大会（滋賀県）		9 千円					
○委託料	中学校クラブ活動競技力向上委託料			14,753 千円					
		三国中学校	(492人・21クラブ)	3,183 千円					
		丸岡中学校	(499人・21クラブ)	3,198 千円					
		丸岡南中学校	(325人・13クラブ)	2,015 千円					
		春江中学校	(725人・23クラブ)	3,895 千円					
		坂井中学校	(392人・16クラブ)	2,462 千円					
【次頁へ】...									

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大	事	業	001	中学校教育振興事業			決算書 P. 213		
中	事	業	16	クラブ活動推進事業			所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課	
…【前頁より】									
○備品購入費 吹奏楽部楽器購入費 2,387 千円									
<ul style="list-style-type: none"> ・三国中学校（ソプラノサクソフォン） ・丸岡中学校（バスクラリネット） ・春江中学校（ユーフォニアム） ・坂井中学校（トロンボーン） ・坂井中学校（ユーフォニアム） 									
◆地域スポーツ指導者配置事業 1,246 千円									
【実施校】 市内全中学校 18人									
【負担割合】 県 1/3 市 2/3									
○報償費 指導謝礼 1,214 千円									
○役務費 傷害保険料 32 千円									
◆部活動指導員配置事業 3,698 千円									
【実施校】 市内4中学校（三国中、丸岡南中、春江中、坂井中）12人									
【負担割合】 国 1/3 県 1/3 市 1/3									
○報酬 会計年度任用職員報酬 3,570 千円									
○旅費 費用弁償 128 千円									
【事業の成果等】									
コロナ禍ではあったが、競技力向上に向けた強化練習会等の機会を増やすことができた。また、徐々に大会等が開催されるようになり、生徒の出場機会も増え、意欲向上につなげることができた。									
外部指導者の配置を進め、生徒の技術力向上と教員の働き方改革に取り組んだ。									
【事業の実績値等】									
		R4実績		R3実績					
地域スポーツ指導者数		18人		16人					
部活動指導員数		12人		12人					

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大	事	業	051	生徒就学援助事業			決算書 P. 213		
中	事	業	01	生徒就学援助事業			所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課	
予算額		当初		決算額		不用額			
		20,847 千円		20,097 千円		750 千円			
前年度		32,000 千円		18,796 千円		13,204 千円			
主	な	財	源	国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	794 千円			
特	定	財	源	国庫支出金	要保護児童生徒援助費補助金	18 千円			
						千円			
予算流用(増減)額		0 千円		予備費充用額		0 千円			
【事業の目的】									
学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。									
【事業の概要】									
経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。									
○扶助費 20,097 千円									
特別支援教育就学奨励費 1,589 千円									
要・準要保護生徒就学援助費 18,508 千円									
【事業の成果等】									
就学援助を必要とする生徒に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。									
要・準要保護児童就学援助費については、国の基準単価に基づき援助をしている。新入学の準備に必要な費用を援助するため、新入学用品準備金の早期支給を実施した。									
【事業の実績値等】									
		R4実績		R3実績					
特別支援教育就学援助人数		45人		41人					
要・準要保護生徒就学援助人数		215人		211人					

予 算 款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費				
大 事 業	101	中学校通学支援事業				決 算 書 P. 213						
中 事 業	01	中学校通学支援事業				所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課					
予算額	当初	補3	決 算 額		不 用 額							
	61,000 千円		59,344 千円		1,656 千円							
前年度	60,200 千円		54,694 千円		5,506 千円							
主な 特定 財源	諸収入	スクールバス利用者協力金				6,380 千円						
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額		0 千円							
【事業の目的】 一定距離を超える地区から市内の中学校に通学する生徒を対象に、スクールバスを運行し、遠距離通学への支援を図る。												
【事業の概要】												
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全学年</td> <td>学校からの距離が、概ね4.0km以上の地区 (冬期間(12月~2月)は3.0km以上の地区)</td> </tr> </tbody> </table>									区分		全学年	学校からの距離が、概ね4.0km以上の地区 (冬期間(12月~2月)は3.0km以上の地区)
区分												
全学年	学校からの距離が、概ね4.0km以上の地区 (冬期間(12月~2月)は3.0km以上の地区)											
○委託料	スクールバス運行	56,466 千円										
	三国地区(通年3台・冬期5台)											
	丸岡地区(通年1台・冬期2台)											
	春江地区(冬期3台)											
	坂井地区(通年2台・冬期3台)											
○補助金	通学バス運行支援事業補助金(丸岡南中学校区)	2,878 千円										
【事業の成果等】 スクールバスの委託運行を行うことにより、遠距離通学をする生徒を支援することができた。また、第2子以降の負担金を無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減を行った。地域団体が主体的に取り組む通学バスの運行の経費支援として、通学バス運行支援事業補助金の交付を行った。												
【事業の実績値等】												
		R4実績	R3実績									
バス利用者数		534人	593人									

予 算 款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費	
大 事 業	051	学校給食管理事業				決 算 書 P. 231			
中 事 業	01	学校給食管理事業				所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	当初	決 算 額		不 用 額					
	62,011 千円		57,182 千円		4,829 千円				
前年度	68,603 千円		58,597 千円		10,006 千円				
主な 特定 財源	県支出金	電源立地地域対策補助金				4,700 千円			
	県支出金	福井の「食」の未来を支える食育推進事業補助金				49 千円			
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額		0 千円				
【事業の目的】 「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。									
【事業の概要】									
○給料					47,723 千円				
	丸岡地区自校調理場調理師	11 名							
	春江坂井学校給食センター調理師	22 名							
○職員手当等	通勤手当、期末手当	9,359 千円							
○需用費	講習会等材料費	100 千円							
【事業の成果等】 安全で安心な給食を提供するため、会計年度任用職員の確保等、安定した調理体制の確立を図った。 また、栄養教諭が中心となって、市内の小学5年生を対象に、食の基本である「だし」について授業を実施し、健康な食生活を送るための体験学習に取り組んだ。									

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大	事	業	051	学校給食管理事業			決算書 P. 235		
中	事	業	16	丸岡学校給食管理事業			所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課	
予算額	当初	補2	決算額			不用額			
	241,099	千円	218,320			千円			
前年度	227,469	千円	208,334			千円			
主な 特定 財源	国庫支出金 繰入金 諸収入	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 まちづくり整備基金繰入金 小中学校給食負担金	17,060 47,500 79,385			千円 千円 千円			
予算 流用 (増減)額	0			千円	予備費 充用額	0			
【事業の目的】 「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。									
【事業の概要】									
◆丸岡学校給食管理事業 本庁 9,703 千円									
○需用費 2,879 千円									
消耗品費（給食衛生用、給食用食器） 1,189 千円									
修繕料（給食用器具等） 1,690 千円									
○役務費 検査手数料（食材・調理師腸内細菌検査） 1,112 千円									
○委託料 調理場内害虫駆除委託料 712 千円									
○備品購入費 給食用備品購入費 5,000 千円									
◆丸岡学校給食管理事業 丸岡 208,617 千円									
自校式5校1園（平章小・長畝小・高椋小・磯部小・明章小・高椋幼）									
○需用費 97,164 千円									
消耗品費（給食用消耗品費他） 1,734 千円									
光熱水費（ガス料） 7,685 千円									
賄材料費（給食材料費および牛乳代） 87,745 千円									
民間委託3校（丸岡中・丸岡南中・鳴鹿小）									
○需用費 12,305 千円									
消耗品費（給食用消耗品費） 83 千円									
賄材料費（牛乳代他） 12,222 千円									
○委託料 学校給食調理業務等委託料 99,148 千円									
（社福）つぐみ福祉会委託分（鳴鹿小） 9,780 千円									
（社福）つぐみ福祉会委託分（丸岡南中） 38,005 千円									
（有）ランチサービス委託分（丸岡中） 51,363 千円									
【次頁へ】…									

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大	事	業	051	学校給食管理事業			決算書 P. 235		
中	事	業	16	丸岡学校給食管理事業			所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課	
…【前頁より】									
【事業の成果等】 物価高騰に対応するため給食材料費の増額を行うとともに、保護者の経済的負担を軽減するために給食費半額を継続して実施した。 給食の食材については、地元業者を中心に市内または県内産のものを可能な限り取り入れ、地産地消の推進に努めた。また、その内容を献立表等でお知らせするなど、食育としての取り組みを行った。									
【事業の実績値等】									
給食の状況		給食人員（日）			給食延数				
		2,713 人			515,417 食				
地場産（県産）食材 使用率（実績）		R4			R3				
		46.9 %			49.6 %				

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大	事	業	051	学校給食管理事業			決算書 P. 233		
中	事	業	06	三国学校給食管理事業			所管 部局	教育委員会事務局 三国学校給食センター	
予算額		当初	補2	補5	決算額			不用額	
		303,081 千円			300,848 千円			2,233 千円	
前年度		290,507 千円			289,244 千円			1,263 千円	
主な	国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			14,110 千円				
特定	繰入金	まちづくり整備基金繰入金			39,200 千円				
財源	諸収入	小中学校給食負担金			66,361 千円				
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額			0 千円	
【事業の目的】 「園児・児童・生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。									
【事業の概要】 中学校1校(三国)、小学校9校(三国南・三国北・雄島・加戸・三国西・大石・大関・兵庫・木部)、幼保園等4園(みくに未来・加戸・三国南、雄島)の計14施設に給食を提供する。一般食のほかに月齢に合わせた離乳食やアレルギー食を実施する。 なお、幼保園、子ども園分に係る費用については保育園費にて対応している。									
○需用費					165,299 千円				
		消耗品費(事務、施設管理、給食用等)			1,976 千円				
		燃料費(ガソリン)			35 千円				
		光熱水費(電気、ガス、水道)			36,481 千円				
		修繕料(給食用備品、施設等)			411 千円				
		賄材料費(給食材料費)			126,396 千円				
○役務費					712 千円				
		通信運搬費(電話料)			164 千円				
		手数料(細菌検査、異物検査等)			385 千円				
		火災保険料			148 千円				
		自動車保険料			15 千円				
○委託料					134,620 千円				
		空調設備保守点検委託料			3,110 千円				
		給食配送業務委託料(㈱アイエス)			30,098 千円				
		ボイラー保守点検委託料(貯湯槽等)			1,100 千円				
		給食調理業務委託料(㈱メフォス)			97,680 千円				
		施設保守点検委託料(排水処理施設等)等			2,632 千円				
【次頁へ】...									

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大	事	業	051	学校給食管理事業			決算書 P. 233		
中	事	業	06	三国学校給食管理事業			所管 部局	教育委員会事務局 三国学校給食センター	
…【前頁より】									
○使用料					48 千円				
		CATV利用料			34 千円				
		放送受信料			14 千円				
○賃借料		コピー機リース料			165 千円				
○負担金		学校給食センター連絡協議会負担金			4 千円				
【事業の成果】 物価高騰に対応するため給食材料費の増額を行うとともに、保護者の経済的負担を軽減するために給食費半額を継続して実施した。 給食の食材については、地元業者を中心に市内または県内産のものを可能な限り取り入れ、地産地消の推進に努めた。また、その内容を献立表等でお知らせするなど、食育としての取り組みを行った。									
【事業の実績値等】									
給食の状況		給食人員(日)			給食延数				
		小中学校	2,280 人		430,148 食				
		幼保園等	510 人		107,482 食				
合計		2,790 人			537,630 食				
地場産(県産)食材 使用率(実績)		R4			R3				
		56.9 %			55.8 %				

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大	事	業	051	学校給食管理事業			決算書 P. 233		
中	事	業	11	春江坂井学校給食管理事業			所管 部局	教育委員会事務局 春江・坂井学校給食センター	
予算額	当初	補2	補5	決算額			不用額		
	264,999			262,400			2,599		
前年度	248,567			244,443			4,124		
主な 特定 財源	国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			19,604			千円	
	繰入金	まちづくり整備基金繰入金			54,500			千円	
	諸収入	小中学校給食負担金			87,504			千円	
予算 流用(増減)額	0			千円	予備費 充用額	0			千円
【事業の目的】									
「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。									
【事業の概要】									
中学校2校（春江・坂井）、小学校4校（春江・春江西・春江東・東十郷）、幼稚園2園（春江・春江東）の計8施設に給食を提供する。また、新鮮な地元農産物を給食材料として使用し、地産地消を推進するとともに安全安心な学校給食を提供する。									
○需用費 228,892 千円									
	消耗品費（被服、施設管理、給食用等）			8,186			千円		
	燃料費（ガソリン）			17			千円		
	光熱水費（電気、ガス、水道）			43,085			千円		
	修繕費（給食用備品、施設等）			2,200			千円		
	賄材料費（給食材料）			175,404			千円		
○役務費 2,398 千円									
	通信運搬費（郵便、電話料）			181			千円		
	手数料（細菌検査）			2,046			千円		
	火災保険料			157			千円		
	自動車保険料			14			千円		
○委託料 30,499 千円									
	エレベーター保守点検委託料			660			千円		
	施設保守点検委託料（排水処理施設等）			5,625			千円		
	電気工作物保守点検委託料			599			千円		
	配送業務委託料（㈱アイエス）			21,236			千円		
	ボイラー保守点検委託料			782			千円		
	調理機器点検委託料等			1,597			千円		
【次頁へ】...									

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大	事	業	051	学校給食管理事業			決算書 P. 233		
中	事	業	11	春江坂井学校給食管理事業			所管 部局	教育委員会事務局 春江・坂井学校給食センター	
…【前頁より】									
○使用料 84 千円									
	放送受信料			14			千円		
	デマンド監視システム使用料			70			千円		
○賃借料 車両借上料、コピー機リース料 167 千円									
○備品購入費 355 千円									
	施設用備品購入費			216			千円		
	給食用備品購入費			139			千円		
○負担金 学校給食センター連絡協議会負担金 5 千円									
【事業の成果等】									
物価高騰に対応するため給食材料費の増額を行うとともに、保護者の経済的負担を軽減するために給食費半額を継続して実施した。									
給食の食材については、地元業者や地場産を中心とした安全・安心な食材を取り入れ、おいしく栄養バランスのとれた学校給食の提供を図った。									
今後も地元の食材を取り入れながら、食育および地場産食材使用率の向上に努める。									
【事業の実績値等】									
給食の状況		給食人員（日）			給食延数				
		小中学校	2,906	人	567,611	食			
		幼保園等	145	人	26,336	食			
合計			3,051	人	593,947	食			
地場産（県産）食材 使用率（実績）		R4			R3				
		50.3 %			53.5 %				

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
大事業	051	社会教育事業						決 算 書	
								P. 213	
中事業	01	社会教育事務事業	所管	教育委員会事務局					
			部局	生涯学習スポーツ課					
予算額	当初	流用	決 算 額		不 用 額				
	11,699 千円		10,936 千円		763 千円				
前年度	11,987 千円		10,125 千円		1,862 千円				
主な	県支出金	人権問題社会教育指導員設置費補助金	216 千円						
特定			千円						
財源			千円						
予算流用(増減)額	33 千円		予備費充用額	0 千円					
【事業の目的】									
社会教育法に基づく社会教育委員の会を設置し、社会教育行政全般における調査および審議を通して答申・建議を行うとともに、社会教育指導員を各地区に配置し、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図る。また、生涯学習講演会を開催し、市民に幅広く学ぶ機会を提供する。									
【事業の概要】									
社会教育法に基づく社会教育委員の設置・運営									
○報酬							8,719 千円		
	社会教育委員報酬15名						510 千円		
	会計年度任用職員（社会教育指導員）報酬5名						8,209 千円		
○職員手当	会計年度任用職員（社会教育指導員）期末手当5名						1,120 千円		
○旅費							292 千円		
	会計年度任用職員通勤手当、自家用車借上料						245 千円		
	特別旅費						47 千円		
○需用費	消耗品費等						11 千円		
○委託料							733 千円		
	登録申請委託料						98 千円		
	生涯学習講演会業務委託料						635 千円		
○負担金							61 千円		
	県社会教育委員連絡協議会負担金						40 千円		
	東海北陸社会教育研究大会負担金						6 千円		
	県社会教育連絡協議会会費						15 千円		
【事業の成果等】									
社会教育委員の会を年3回開催し、各種研修会にも参加した。また、合宿通学事業と放課後子ども教室の実行委員として、防災合宿や各地区で開催されている放課後子ども教室等の視察を行った。									
【事業の実績値等】									
		R4年度		R3年度					
	会議開催数	3回		3回					

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
大事業	051	社会教育事業						決 算 書	
								P. 215	
中事業	06	社会教育団体補助事業	所管	教育委員会事務局					
			部局	生涯学習スポーツ課					
予算額	当初	流用	決 算 額		不 用 額				
	1,840 千円		1,754 千円		86 千円				
前年度	1,840 千円		1,532 千円		308 千円				
主な			千円						
特定			千円						
財源			千円						
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額	0 千円					
【事業の目的】									
補助金の交付により社会教育団体の育成と活動の促進を図る。									
【事業の概要】									
○補助金							1,754 千円		
	坂井市PTA連合会事業補助金						220 千円		
	青少年育成団体運営補助金						240 千円		
	・ボーイスカウト第5団						70 千円		
	・ガールスカウト第17団						70 千円		
	・ガールスカウト第20団						70 千円		
	・三国海洋少年団						30 千円		
	坂井市かるた協会事業補助金						294 千円		
	坂井市女性の会運営補助金						1,000 千円		
【事業の成果等】									
地域社会の活力向上や、社会教育活動を通じた市民の交流、青少年の健全育成等を行う社会教育団体の活動・運営を支援し、組織の育成を図った。なお、各団体には自己財源の確保等による補助金割合の適正化を促しており、今後も自主運営力を高める必要がある。									
【事業の実績値等】									
		R4年度		R3年度					
	補助団体数	7団体		7団体					

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
大 事 業	151	市民運動推進事業						決 算 書	
								P. 215	
中 事 業	01	市民運動推進事業	所管	教育委員会事務局					
			部 局	生涯学習スポーツ課					
予 算 額	当初		決 算 額	不 用 額					
		340 千円		340 千円					0 千円
前年度		340 千円		340 千円					0 千円
主な									千円
特定									千円
財源									千円
予 算 流 用 (増 減) 額		0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円					
【事業の目的】									
市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。									
【事業の概要】									
○負担金 坂井市民運動推進協議会負担金 340 千円									
第17回坂井市花壇コンクール									
審査日 8月22日(月) 三国地区・広域									
8月23日(火) 坂井地区・丸岡地区									
8月24日(水) 春江地区									
場 所 市内の花壇									
参加数 53地区団体									
坂井市ふるさとづくり大会									
期 日 12月9日(金)									
場 所 高椋コミュニティセンター 古城ホール									
内 容 坂井市市民運動実践者表彰									
花壇コンクール入賞団体表彰									
少年の主張 「支えあって生きていく」									
ふくい桜マラソン2024応援キャンペーン									
【事業の成果等】									
「坂井市ふるさとづくり大会」を青少年育成坂井市民会議と合同で開催し、より一層豊かで明るく、住みたくなるまちづくりを目指して市民運動への意識向上と推進を図った。									
【事業の実績値等】									
		R4年度		R3年度					
	花壇コンクール参加数	53団体		53団体					

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	国際交流推進費	
大 事 業	001	国際交流推進事業						決 算 書	
								P. 215	
中 事 業	01	国際交流推進事業	所管	教育委員会事務局					
			部 局	生涯学習スポーツ課					
予 算 額	補2	流 用	決 算 額	不 用 額					
		164 千円		102 千円					62 千円
前年度		365 千円		119 千円					246 千円
主な									千円
特定									千円
財源									千円
予 算 流 用 (増 減) 額		△ 26 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円					
【事業の目的】									
市内中学校生徒の英国への派遣と英国からの生徒の坂井市招へいを実施し、相互のホームステイや授業参加などを通して、国際化時代に対応できる人材を育成する。									
また、中学校1、2年生を対象とする英国派遣団の事前研修体験イベントや、国際交流イベントを開催し、より多くの生徒に国際交流の機会を提供する。									
【事業の概要】									
※英国招へい・英国派遣事業は新型コロナウイルスや国際情勢の影響により中止									
・PENPALL2022 (手紙による文化・生活紹介および一筆啓上英文作品の翻訳)									
〈日程〉 10月8日、1月14日、2月18日、3月11日									
〈参加人数〉市内中学校1、2年生 19名(男子4人、女子15人)									
○報償費 指導謝礼(県内ALT等) 70 千円									
○需用費 消耗品費 28 千円									
○役務費 郵便料 4 千円									
【事業の成果等】									
新型コロナウイルス感染症の影響により、英国招へいおよび派遣事業は中止したが、市内ALTなどを講師として国際交流推進事業を実施した。互いのふるさとや生活等について英語で紹介する手紙による交流や、英国生徒による一筆啓上賞英文作品の日本語への翻訳を行った。また、ALTとは「話す」研修も行い、今後の交流に活かせる内容の研修とした。									
【事業の実績値等】									
		R4年度		R3年度					
	イベント開催数	4回		7回					

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費	
大 事 業	001	青少年健全育成事業				決 算 書 P. 215			
中 事 業	01	子ども会育成事業				所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予算額	当初		決 算 額		不 用 額				
	2,145 千円		2,051 千円		94 千円				
前年度	2,144 千円		1,701 千円		443 千円				
主な 特定 財源					千円 千円 千円				
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額		0 千円				
【事業の目的】 幼少年期から、家族や教師以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材を育成する。									
【事業の概要】									
○負担金	福井県子ども会育成連合会負担金				67 千円				
○補助金	坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金				1,984 千円				
ジュニアリーダーズクラブ活動日数(重複含む)									
	令和4年度								
依 頼	18日								
例 会	65日								
自主企画	5日								
合 計	90日								
【事業の成果等】 青少年のリーダー育成を目的に、坂井市子ども会育成連絡協議会を事業主体として子ども会活動の支援や組織の育成を図った。チャレンジランキング大会では、新型コロナウイルス感染症の影響のため丸岡町と春江町のみ開催した。ディスクドッチ大会は各町および坂井地区(あわら市・坂井市)にて開催した。壁新聞コンクールでは24作品の応募があった。また、ジュニアリーダーズクラブは学校や子ども会などの依頼対応を行うとともに、活動の幅を広げてジュニアリーダー数の増員を図るため、派遣依頼や自主企画を行った。子どもの数が減っている地域での子ども会活動の継続が今後の課題である。									
【事業の実績値等】									
	R4年度		R3年度						
壁新聞出品数	24作品		20作品						

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費	
大 事 業	001	青少年健全育成事業				決 算 書 P. 215			
中 事 業	06	はたちのつどい事業				所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予算額	当初		決 算 額		不 用 額				
	1,384 千円		1,219 千円		165 千円				
前年度	1,345 千円		1,226 千円		119 千円				
主な 特定 財源					千円 千円 千円				
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額		0 千円				
【事業の目的】 20歳になる市民等を対象とし、「はたちのつどい」として実施することで成人としての社会的責任への自覚を改めて促し、ふるさと坂井市への想いや地元での活躍、地域貢献への意識醸成を図る。									
【事業の概要】									
〈期 日〉	3月19日(日) 第1部 11時00分～ 第2部 15時00分～ 第1部 三国・春江 第2部 丸岡・坂井								
〈会 場〉	ハートピア春江								
〈対象者〉	令和4年度に二十歳を迎えた人(H14.4.2～H15.4.1生まれ)968名								
〈参加者〉	704名(出席率72.7%)								
○報償費					767 千円				
	実行委員等謝礼				35 千円				
	記念品等(記念アルバム)				732 千円				
○需用費					260 千円				
	消耗品費				100 千円				
	食糧費				127 千円				
	印刷製本費				33 千円				
○役務費	郵便料				176 千円				
○使用料	会場使用料				16 千円				
【事業の成果等】 はたちのつどい実行委員会を結成し、参加者が楽しんでもらえるような内容を自ら企画、運営することで出席者が満足できる催しとなった。									
【事業の実績値等】									
	R4年度		R3年度						
はたちのつどい出席率	72.7%		82.1%						

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費
大 事 業	001	青少年健全育成事業	
			決 算 書 P. 215
中 事 業	11	わんぱく少年団事業	
		所管 部 局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	当 初 補 2	決 算 額	不 用 額
	5,219 千円	4,668 千円	551 千円
前 年 度	463 千円	179 千円	284 千円
主 な 特 定 財 源	繰入金	寄附市民参画基金繰入金	4,386 千円
	諸収入	わんぱく王国参加者負担金	189 千円
	諸収入	わんぱく少年団参加者負担金	93 千円
予 算 流 用 (増 減) 額	0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円
【事業の目的】 市内の自然の中で行う様々な体験を通じ、自然を愛し仲間との協力の大切さを学ぶとともに、積極性と自立心の向上を目的とする。			
【事業の概要】 ◆わんぱく少年団事業 282 千円 ・「2022 SAKAIわんぱく少年団」(7月～2月、坂井市内小学校5・6年生30人) ①結団式、②磯観察、③どろんこ教室&ドラム缶風呂、④力又一体験、⑤トレッキング⑥ウォークラリー、⑦正月飾りづくり、⑧クロスカントリー、⑨ドッチビー&修了式 ○報償費 講師謝礼 45 千円 ○需用費 消耗品費、食糧費 171 千円 ○役務費 損害保険料 25 千円 ○使用料 施設使用料他 41 千円 ◆わんぱく王国事業 4,386 千円 ・「わんぱく王国」地域団体の協力のもと、全11種(海メニュー4種、山メニュー3種、その他自然体験メニュー4種)のメニューを実施 ○需用費 消耗品費、食糧費 583 千円 ○役務費 損害保険料 314 千円 ○委託料 事業運営委託料 1,039 千円 ○使用料 施設使用料 10 千円 ○備品購入費 貸出用備品購入費 2,440 千円			
【事業の成果等】 わんぱく少年団事業では、小学5、6年生を対象に募集し、トレッキングやキャンプ等の自然体験活動の機会を提供した。また、ジュニアリーダーズクラブにスタッフとして加わることで、青少年のリーダー育成を推進することができた。 わんぱく王国事業では、寄附市民参画制度を活用し、市内の全児童を対象とした自然体験プログラム(チャレンジメニュー)を提供した。			
【事業の実績値等】			
	わんぱく王国参加者数	登録者数	のべ参加者数
		202人	380人

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費
大 事 業	001	青少年健全育成事業	
			決 算 書 P. 217
中 事 業	16	青少年育成坂井市民会議事業	
		所管 部 局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	当 初	決 算 額	不 用 額
	2,126 千円	2,063 千円	63 千円
前 年 度	2,126 千円	1,848 千円	278 千円
主 な 特 定 財 源			千円
			千円
			千円
予 算 流 用 (増 減) 額	0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円
【事業の目的】 近年の青少年を取り巻く環境に鑑み、広く市民の総意を結集して「青少年育成坂井市民会議」を組織し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。			
【事業の概要】 青少年育成坂井市民会議の主な活動			
	期 日	事 業 名	場 所
	5月16日(月)	第1回理事会	市役所2階研修室2
		青少年育成坂井市民会議総会	書面決議
	6月11日(土)	第10回青少年育成福井県民会議総会	福井県生活学習館
	6月24日(金)	青少年育成市町民会長会議	福井県職員会館ビル
	7月23日(土)	一斉街頭啓発キャンペーン	アミ、イーザ
	9月21日(水)	赤ちゃんとつながるオンライン交流会	丸岡南中学校
	9月29日(木)	赤ちゃんとつながるオンライン交流会	坂井中学校
	10月6日(木)	赤ちゃんとつながるオンライン交流会	丸岡中学校
	10月7日(金)	赤ちゃんとつながるオンライン交流会	春江中学校
	10月17日(月)	第2回理事会	市役所3階大ホール
	10月29日(土)	青少年健全育成福井県民大会	ハートピア春江
	11月12日(土)	一斉街頭啓発キャンペーン	プラント2、ピアゴ
	11月16日(水)	第3回理事会	市役所2階研修室2
	12月9日(金)	坂井市ふるさとづくり大会	高椋コミュニティセンター
	3月1日(水)	第4回理事会	東十郷コミュニティセンター
	○補助金	青少年育成坂井市民会議運営補助金	2,063 千円
【事業の成果等】 ふるさとづくり大会は、坂井市民運動推進協議会と青少年育成坂井市民会議表彰を合同開催し、少年の主張コンクール受賞者である丸岡南生徒の発表も加えた。また「いきいき見守り隊」活動も継続し、市民の普段の生活の中で気軽に見守り・防犯に取り組むことで会員数を増やし、安心安全な環境づくりを図った。			
【事業の実績値等】			
		R4年度	R3年度
	いきいき見守り隊隊員数	44人	38人

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大 事 業	001	青少年健全育成事業			決 算 書 P. 217			
中 事 業	21	放課後子ども教室推進事業			所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予算額	当初		決 算 額		不 用 額			
	2,250 千円		1,732 千円		518 千円			
前年度	2,250 千円		1,608 千円		642 千円			
主な 特定 財源	県支出金	放課後子ども教室推進事業補助金			570 千円			
					千円			
					千円			
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額	0 千円				
【事業の目的】								
学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部として、地域づくりとコミュニティの拠点であるコミュニティセンターにおいて、放課後子ども教室を実施する。学習アドバイザーや安全管理員など地域住民の協力を得ながら、子どもたちにとって多様で有意義な学習・体験の機会を提供する。								
【事業の概要】								
○委託料 放課後子ども教室実施委託料 1,732 千円 (25教室・参加者延べ4,521人・開催日数合計477日)								
【事業の成果等】								
地域のボランティアの協力のもと、子どもたちの居場所を確保しながら、地域の資源や特徴に応じた様々な学習・体験を提供することができた。今後も子どもたちの安全・安心な居場所づくりを行う。								
【事業の実績値等】								
		R4年度	R3年度					
		開催日数合計	477日		428日			

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大 事 業	001	青少年健全育成事業			決 算 書 P. 217			
中 事 業	26	合宿通学事業			所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予算額	当初 流用		決 算 額		不 用 額			
	693 千円		513 千円		180 千円			
前年度	1,315 千円		510 千円		805 千円			
主な 特定 財源					千円			
					千円			
					千円			
予算流用(増減)額	△ 7 千円		予備費充用額	0 千円				
【事業の目的】								
家庭を離れ、合宿生活を体験することで、日常生活における家族への感謝の気持ちや自主性、協調性を育てる。また、地域住民の協力を得て行うことにより、子どもと地域の結びつきの強化を図る。								
【事業の概要】								
●防災合宿 実施内容 コミセン等での避難所宿泊体験（一泊二日）								
	期 間	場 所	対 象 者	参 加 人 数				
	6月10日(金)～11日(土)	大石小学校体育館	大石小学校6年生	32名				
	6月17日(金)～18日(土)	木部小学校体育館	木部小学校5, 6年生	21名				
	6月24日(金)～25日(土)	長畝小学校体育館	長畝小学校5年生	39名				
	10月21日(金)～22日(土)	三国南小学校体育館	三国南小学校6年生	24名				
	合 計			116名				
○委託料 合宿通学事業業務委託料 513 千円								
【事業の成果等】								
コロナ禍を考慮して、今年度も「防災合宿」をテーマに実施した。児童が小学校に開設された避難所で1泊する想定で、段ボールベッドや災害用テントの組立、防災学習や非常食調理体験など、教育カリキュラムの中で学習する防災教育を応用し実際に体験することができた。また、まちづくり協議会、日赤奉仕団、食生活改善推進員、更生保護女性の会や自衛隊など様々な協力団体の力も借りながら協働により実施することができた。今後は防災合宿を地域主体で実施できるよう普及に努める。								
【事業の実績値等】								
		R4年度	R3年度					
		実施校数	4校		5校			

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大 事 業	001	青少年健全育成事業			決 算 書 P. -			
中 事 業	31	坂井・延岡ジュニア交流事業			所管 部 局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予 算 額	当 初		決 算 額		不 用 額			
	667 千円		0 千円		667 千円			
前年度	674 千円		25 千円		649 千円			
主な 特定 財源					千円 千円 千円			
予 算 流 用 (増 減) 額	0 千円		予 備 費 充 用 額	0 千円				
【事業の目的】 宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校児童を対象に両市の名所旧跡を見学することで人的交流を図り、両市の関係を深めていくことを目的とする。								
【事業の概要】 1年ごとに坂井市と延岡市を相互に訪問し交流を行っている。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大状況から、延岡市児童の招へい事業は中止した。								
【事業の成果等】 坂井市と延岡市の子どもたちの交流について、今後も状況に応じた交流ができるよう検討し、両市の歴史と風土を学ぶ機会を提供していく必要がある。								
【事業の実績値等】								
		R4年度	R3年度					
	事業参加者	0人	6人					

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大 事 業	051	心の家庭教育支援事業			決 算 書 P. 217			
中 事 業	01	心の家庭教育支援事業			所管 部 局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予 算 額	当 初		決 算 額		不 用 額			
	1,611 千円		1,606 千円		5 千円			
前年度	1,594 千円		1,189 千円		405 千円			
主な 特定 財源					千円 千円 千円			
予 算 流 用 (増 減) 額	0 千円		予 備 費 充 用 額	0 千円				
【事業の目的】 家庭の教育力向上を図るため、現在子育て中の保護者が子育てに関する情報や学習機会を得られるよう支援体制を作り、地域全体で家庭教育を支える基盤形成を促進する。								
【事業の概要】								
・子育て講座 小学校を中心に多くの保護者が集まる機会（就学時健診時等）を活用して、家庭教育についての学習機会を提供した。（3校）								
・家庭教育支援チーム 元教員、元保育士・子育て経験者などで結成し、子ども相談室や保護者相談などを通して家庭教育の支援を行った。								
・広報紙の発行 子育てに関する情報やアドバイス等を掲載した広報紙「ほやほや」を年4回発行した。								
○報償費 1,495 千円								
子育て講座講師謝礼 30 千円								
家庭教育支援チーム員研修講師謝礼 10 千円								
家庭教育支援チーム員手当（36名） 1,455 千円								
○需用費 84 千円								
消耗品費 69 千円								
食糧費 15 千円								
○役務費 家庭教育支援チーム員傷害保険料 27 千円								
【事業の成果等】 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限される中、広報紙を通して積極的に活動のPRを行った。市内小学校での子ども相談室では、子どもたちとの信頼関係を育みながら活動している。また、外部講師による研修を2回行い、支援員の相談対応技術力向上を図った。今後も継続して、支援員のスキルアップを図り、相談対応の充実に努める。								
【事業の実績値等】								
		R4年度	R3年度					
	広報誌発行回数	4回	5回					

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	06	青少年愛護センター費	
大	事	業	001	愛護センター事業				決	算	書
								P.	217	
中	事	業	01	愛護センター事業	所	管	部	局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	
予算額	当初			決	算	額	不		用	額
		11,005	千円			10,305	千円	700		千円
前年度	11,362		千円			10,556	千円	806		千円
主な	特定	財源	県支出金	青少年愛護センター運営費補助金		367		千円		
										千円
										千円
予算流用(増減)額		0		千円	予備費充用額		0		千円	
【事業の目的】 青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為を補導活動等により防止することで、青少年の健全育成を図る。										
【事業の概要】										
○報酬	会計年度任用職員(パートタイム)報酬3名		5,084		千円					
○給料	会計年度任用職員(フルタイム)給料1名		2,009		千円					
○職員手当	会計年度任用職員時間外(フルタイム)		10		千円					
	会計年度任用職員期末手当4名		1,213		千円					
○報償費	一般補導員手当		968		千円					
○旅費	会計年度任用職員(パートタイム)通勤手当3名		101		千円					
○需用費			624		千円					
	消耗品費		189		千円					
	燃料費		373		千円					
	食糧費		12		千円					
	印刷製本費		50		千円					
○役務費			44		千円					
	手数料		16		千円					
	自動車保険料		28		千円					
○委託料			239		千円					
	エンゼルロード警備保障委託		185		千円					
	コピー機保守点検委託		54		千円					
○賃借料	コピー機リース料		13		千円					
【事業の成果等】 一般補導員322名による補導活動をはじめ、各自治区懇談会や合同巡回街頭補導を実施した。今後も各関係機関と連携した補導体制の充実を図っていく。										

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費	
大	事	業	051	スポーツ推進委員運営事業				決	算	書
								P.	229	
中	事	業	01	スポーツ推進委員運営事業	所	管	部	局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	
予算額	当初			決	算	額	不		用	額
		1,770	千円			1,448	千円	322		千円
前年度	2,023		千円			1,382	千円	641		千円
主な	特定	財源							千円	
										千円
										千円
予算流用(増減)額		0		千円	予備費充用額		0		千円	
【事業の目的】 スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力を行い、市のスポーツ振興を図る。地域のスポーツの推進役として市民のニーズを把握し、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行うことができるようサポートする。										
【事業の概要】										
<ul style="list-style-type: none"> 派遣指導(マリン体操の普及推進、出前ニュースポーツ講座)15回/年 各種大会への協力(坂井市古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭他) 会議等の開催(全体会1回、部会等7回) 										
○報酬	スポーツ推進委員報酬(@32千円×37人)		1,184		千円					
○旅費	全国スポーツ推進委員研究協議会滋賀大会宿泊費		27		千円					
○需用費			84		千円					
	被服費		26		千円					
	定期刊行物購読料		5		千円					
	資料購入代		5		千円					
	啓発用消耗品費		48		千円					
○役務費	傷害保険料		66		千円					
○負担金			87		千円					
	会議・研修会参加負担金		13		千円					
	県スポーツ推進委員協議会負担金		19		千円					
	県スポーツ推進委員協議会会費		55		千円					
【事業の成果等】 まちづくり協議会や地区の体育協会からの派遣依頼を受け、体操指導やニュースポーツ指導等を実施した。また、子ども会のディスクドッチ大会に向けた審判講習会の開催や大会当日の審判等も務めた。今後もスポーツを通して市民の健康づくりに貢献できる取り組みを実施していく。										
【事業の実績値等】										
			目標値	実績						
派遣依頼数			15件	15件						

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大	事	業	001	スポーツ振興事業			決算書 P. 229		
中	事	業	01	スポーツ大会運営事業			所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	
予算額	当初	決算額		不用額					
	19,426 千円	18,289 千円		1,137 千円					
前年度	11,601 千円	6,480 千円		5,121 千円					
主な 特定 財源	繰入金	まちづくり整備基金繰入金			3,900 千円				
					千円				
					千円				
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額	0 千円					
【事業の目的】 誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、生涯スポーツの普及推進を図る。また、市民相互の親睦と融和を図ることにより、市民の生涯にわたるスポーツライフの実現を目指す。									
【事業の概要】 坂井市古城マラソン大会 ゲストランナー 木崎 良子 11月6日(日) 参加者数 1,755人 坂井市民スポーツ祭 10月10日(月・祝) 参加者数 2,461人 スポーツフェスタ、競技別大会									
○需用費 6 千円									
○委託料 スポーツ大会委託料 4,920 千円 ・坂井市古城マラソン大会 2,700 千円 ・坂井市民スポーツ祭運営 2,220 千円									
○負担金 ふくい桜マラソン実行委員会負担金 13,233 千円									
○補助金 坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業補助金 100 千円									
【事業の成果等】 各種大会を開催しスポーツ振興を図った。市民スポーツ祭は、スポーツの普及と市民の健康増進に寄与した。									

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大	事	業	001	スポーツ振興事業			決算書 P. 231		
中	事	業	02	ワールドマスターズゲームズ運営事業			所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	
予算額	当初	補2	補3	決算額		不用額			
	10,000 千円			10,000 千円		0 千円			
前年度	2,500 千円			1,632 千円		868 千円			
主な 特定 財源	県支出金	スポーツまちづくり推進事業補助金			5,000 千円				
					千円				
					千円				
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額	0 千円					
【事業の目的】 世界最大の生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ2021関西」のオープン競技として、坂井市で「ディスクゴルフ競技会」を開催することにより、インバウンドの獲得とシティセールスを行い、スポーツ振興を図る。									
【事業の概要】 ○負担金 ワールドマスターズゲームズ2021関西坂井市実行委員会負担金 10,000 千円									
【事業の成果等】 令和5年5月の開催に向け、市実行委員会の公式ホームページを通じて大会に関する情報発信、競技用備品や参加賞等の購入および会場装飾物の製作等、大会開催に向けて様々な準備を行った。 また、まちづくり協議会等団体の行事で、ディスクゴルフ教室を行うなど同競技の普及活動と大会の広報活動を行った。									
【事業の実績値等】									
ディスクゴルフ体験会等の開催数							実 績		
							18回		

予 算 款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大 事 業	001	スポーツ振興事業			決 算 書 P. 231			
中 事 業	06	スポーツ振興事業			所 管 部 局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予 算 額	当 初		決 算 額		不 用 額			
	99,151 千円		96,890 千円		2,261 千円			
前年度	97,993 千円		91,621 千円		6,372 千円			
主 な 特 定 財 源					千円 千円 千円			
予 算 流 用 (増 減) 額	0 千円		予 備 費 充 用 額	0 千円				
【事業の目的】 坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体に対し補助金を交付し、競技スポーツ・生涯スポーツの推進、また、スポーツによる青少年の健全育成を目的とする活動を支援する。また、予選を勝ち抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。								
【事業の概要】								
○ 報 償 費	全国スポーツ大会出場激励金		2,976 千円					
	・ 国体		43名					
	・ 全国高等学校総合体育大会		62名					
	・ 国際大会（世界選手権）		1名					
	・ その他全国大会		290名					
	計		396名（82大会）					
○ 需 用 費			7 千円					
	事務用消耗品費		6 千円					
	資料購入代		1 千円					
○ 負 担 金	スポーツ施設協会負担金		4 千円					
○ 補 助 金			93,903 千円					
	坂井市スポーツ協会補助金		88,213 千円					
	坂井市スポーツ少年団補助金		3,690 千円					
	地域密着型トップスポーツチーム支援事業補助金		2,000 千円					
【事業の成果等】 選手らに対し、大会での活躍を激励することにより、競技スポーツの振興を図ることができた。補助金交付については今後も効率的な団体運営を推進し、自主運営力を高める必要がある。								
【事業の実績値等】								
		R4年度	R3年度					
	激励金支給者	396人	256人					

予 算 款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大 事 業	001	体育施設管理事業			決 算 書 P. 231			
中 事 業	01	体育施設管理事業			所 管 部 局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予 算 額	当 初		補 2	補 5	決 算 額		不 用 額	
	299,911 千円				299,154 千円		757 千円	
前年度	448,889 千円				444,614 千円		4,275 千円	
主 な 特 定 財 源	使用料	学校体育施設使用料				3,423 千円		
	繰入金	まちづくり整備基金繰入金				54,000 千円		
	諸収入	スポーツ振興くじ助成金				3,630 千円		
予 算 流 用 (増 減) 額	千円		予 備 費 充 用 額	0 千円				
【事業の目的】 安全で快適な体育施設の維持管理と利用者のニーズに応じた運営を行い、スポーツ活動の振興および施設の利用促進を図る。								
【事業の概要】								
○ 旅 費	特別旅費		68 千円					
○ 需 用 費	三国運動公園野球場ラバーシート修繕料		199 千円					
○ 役 務 費	火災保険料（公有建物共済分担金）		789 千円					
○ 委 託 料			189,337 千円					
	丸岡フィットネスセンタートイレ排水管調査委託料		66 千円					
	春江体育館耐震診断業務		1,485 千円					
	学校開放事業等委託料		6,500 千円					
	（公財）坂井市スポーツ協会							
	坂井市体育施設指定管理委託料		140,000 千円					
	【指定管理者】		（公財）坂井市スポーツ協会					
	【指定管理期間】		平成31年4月1日～令和6年3月31日					
	坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター指定管理委託料							
	【指定管理者】		アクアスポーツ(株)		40,100 千円			
	【指定管理期間】		平成31年4月1日～令和6年3月31日					
	丸岡スポーツランド広告看板製作業務		1,186 千円					
○ 賃 借 料	土地借上料（体育施設用地借上料）		27,980 千円					
○ 工 事 請 負 費			71,568 千円					
	三国運動公園屋内温水プール屋上防水改修工事		20,463 千円					
	三国運動公園子ども広場遊具改修工事		2,376 千円					
	三国運動公園屋内温水プール排煙窓修繕工事		2,420 千円					
	三国運動公園屋内温水プール電気設備改修工事		9,664 千円					
	三国健康管理センター機械室機器撤去工事		847 千円					
	三国体育館気中開閉器更新工事		754 千円					
	多目的屋内スポーツセンター人工芝張替工事		12,529 千円					
	丸岡B&Gプールろ過ポンプ取替工事		1,287 千円					
	丸岡フィットネスセンタートイレ改修工事		3,553 千円					
【次頁へ】...								

予 算 款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大 事 業	001	体育施設管理事業			決 算 書 P. 231			
中 事 業	01	体育施設管理事業			所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
…【前頁より】								
○工事請負費（つづき）								
丸岡スポーツランド新幹線高架下整備工事 8,429 千円								
丸岡スポーツランド人工芝グラウンド照明調整工事 139 千円								
丸岡フィットネスセンター男子トイレ改修工事 1,254 千円								
高椋小学校体育館防球ネット更新工事 285 千円								
春江水泳プール解体工事 7,568 千円								
○備品購入費 6,447 千円								
トレーニングマシン（三国体育館） 5,280 千円								
自動式体外除細動器（AED）購入 1,167 千円								
○負担金 2,746 千円								
指定管理者修繕負担金（公財）坂井市スポーツ協会分）								
三国運動公園高圧ケーブル修繕負担金 2,716 千円								
B&G地域海洋センター連絡協議会負担金 30 千円								
○補償金 体育施設周辺補償費 20 千円								
【事業の成果等】								
各体育施設について改修や機能向上工事と、利用者のニーズに応じた備品の整備を行い、利用者満足度の向上に努めた。平成27年度より使用停止としていた春江プールを解体し廃止した。今後は、体育施設の老朽化状況や利用率を考慮して、施設の統廃合を含めた再整備の検討が必要である。								

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大 事 業	001	文化振興事業			決 算 書 P. 217			
中 事 業	01	文化振興事業			所管 部局	教育委員会事務局 文化課		
予 算 額	当 初	流 用	決 算 額		不 用 額			
		602 千円	334 千円		268 千円			
前年度	687 千円		511 千円		176 千円			
主 な 特 定 財 源					千円 千円 千円			
予 算 流 用 (増 減) 額			△ 70 千円		予 備 費 充 用 額	0 千円		
【事業の目的】								
文化芸術分野の全国大会以上の大会に出場する市民に対し、大会での活躍を激励するとともに激励金を支給し本市の文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を開催し、幅広く市民の意見を求め、市の文化施策推進を図る。								
【事業の概要】								
○報償費 231 千円								
委員謝礼 32 千円								
全国大会等出場激励金 195 千円								
協力者謝礼 4 千円								
○需用費 7 千円								
消耗品費（事務用消耗品費） 5 千円								
食糧費（会議用お茶） 2 千円								
○使用料 有料道路通行料、入場料 8 千円								
○賃借料 車両借上料 88 千円								
（文化未来会議視察研修：能美市・金沢市）								
【事業の成果等】								
全国大会出場24人（個人）に対して激励金を贈り、大会での活躍を激励した。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に少なくなったが、例年よりも減少となった。坂井市文化未来会議では、能美ふるさとミュージアムや石川県立図書館を視察し、施設の運営について学んだ。								
【事業の実績値等】								
			R4	R3				
全国大会等出場者数			24人	14人・2団体				

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大	事	業	001	文化振興事業			決算書 P. 219		
中	事	業	06	文化団体補助事業			所管 部局	教育委員会事務局 文化課	
予算額	当初	決算額			不用額				
	125,425 千円	116,171 千円			9,254 千円				
前年度	131,872 千円	112,642 千円			19,230 千円				
主な 特定 財源								千円 千円 千円	
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額			0 千円	
【事業の目的】 地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、(公財)丸岡文化財団および(公財)坂井市文化振興事業団、各種文化団体で組織する坂井市文化協会が実施する文化活動事業を支援する。									
【事業の概要】 ○補助金 116,171 千円 丸岡文化財団運営補助金 51,745 千円 坂井市文化協会事業補助金 1,670 千円 坂井市文化振興事業団運営補助金 62,756 千円									
【事業の成果等】 丸岡文化財団主催の一筆啓上賞は30回目となり、市を代表する事業として定着している。また、まるおか子供歌舞伎事業は、3年ぶりに18回目の公演が開催された。坂井市文化協会は、文化講演会や郷土芸能祭、写真教室などを開催し、様々な文化団体が文化活動に参加できる企画運営を担い、市の文化振興に大いに貢献している。坂井市文化振興事業団は、市民の文化意識の向上や次世代育成に対して大きく貢献している。また、子どもミュージカル事業は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。									
【事業の実績値等】									
				R4		R3			
				一筆啓上応募数	39,704通	46,912通			
				文化協会会員数	1,643人	1,685人			

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大	事	業	001	文化振興事業			決算書 P. 219		
中	事	業	11	文化活動支援事業			所管 部局	教育委員会事務局 文化課	
予算額	当初	決算額			不用額				
	22,200 千円	17,815 千円			4,385 千円				
前年度	22,200 千円	21,781 千円			419 千円				
主な 特定 財源								千円 千円 千円	
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額			0 千円	
【事業の目的】 優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することにより、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進する。									
【事業の概要】 ○委託料 17,815 千円 文化祭業務委託料(坂井市民文化祭実行委員会) 4,994 千円 公演業務委託料(坂井市文化振興事業団:20事業) 11,621 千円 市民文化創造企画支援事業委託料(坂井市文化振興事業団) 1,200 千円									
【事業の成果等】 文化祭事業は実行委員会に委託し、市内4地区の会場それぞれで芸能・展示発表を行い、いずれの会場も盛況であった。今後も、市内の文化ホール等を有効に活用しながら、市民の文化活動の活性化が図られるよう事業に取り組んでいく。公演事業では、音楽・古典芸能など様々なジャンルのアーティストによる公演や地元出身の音楽家によるコンクールを開催し、市民参加・育成型事業にも取り組んでいる。市民グループに対する支援事業は4件申請があり、コロナ禍の中でも多くの事業が行われた。									
【事業の実績値等】									
				R4		R3			
				文化祭来場者数	10,562人	11,095人			
				文化祭出演・出展者数	7,303人	6,739人			
				公演事業入場者数	4,964人	8,831人			

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費	
大 事 業	001	文化振興事業						決 算 書 P. 219	
中 事 業	21	一筆啓上手紙の館管理運営事業	所管 部局		教育委員会事務局 文化課				
予算額	当初			決 算 額		不 用 額			
		14,148 千円		11,411 千円		2,737 千円			
前年度		14,147 千円		10,341 千円		3,806 千円			
主な 特定 財源								千円 千円 千円	
予算流用(増減)額			0 千円	予備費充用額		0 千円			
【事業の目的】 一筆啓上賞の作品をはじめとする手紙にまつわる企画等を展開し、丸岡城と連携した文化と観光振興の推進を図る。									
【事業の概要】									
○報償費		運営審議会委員謝礼（3名）				22 千円			
○役務費		手紙の館火災保険料				114 千円			
○委託料		事業運営委託料（丸岡文化財団）				11,275 千円			
【事業の成果等】 丸岡文化財団に「手紙の館」の事業運営を委託し、一筆啓上賞の作品や手紙をテーマにした企画展等を実施している。施設の運営については、引き続き運営審議会で検討・助言等を行いながら、丸岡城と連携した地域のにぎわい創出を図っていく。									
【事業の実績値等】									
			目 標 値			実 績			
		手紙の館入館者数	40,000人			29,506人			
		(うち共通入場券入館者)	(30,000人)			23,838人			

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費	
大 事 業	051	文化施設管理運営事業						決 算 書 P. 219	
中 事 業	02	文化の森・みくに市民センター管理運営事業	所管 部局		教育委員会事務局 文化課				
予算額	当初	補2	補5		決 算 額		不 用 額		
					100,280 千円		97,816 千円		2,464 千円
前年度					83,745 千円		79,159 千円		4,586 千円
主な 特定 財源	国庫支出金				新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			234 千円	
	諸収入				(公財)福井県市町振興協会交付金			19,293 千円	
								千円	
予算流用(増減)額					832 千円	予備費充用額		0 千円	
【事業の目的】 文化施設の適切な維持管理を行い、利用者の利便性の向上と安全確保を図る。									
【事業の概要】									
◆文化の森・みくに市民センター管理運営事業					97,676 千円				
○需用費		施設等修繕料（ハートピア春江水盤ろ過装置修繕）			1,158 千円				
○役務費					237 千円				
		火災保険料			166 千円				
		展示・収蔵資料損害保険料			71 千円				
○委託料					75,623 千円				
		調査委託料			1,000 千円				
		（ハートピア春江 既設井戸カメラ調査）							
		指定管理者委託料（市文化振興事業団）			74,539 千円				
		樹木処分委託料			84 千円				
○賃借料		文化の森敷地借上料（18,875㎡）			3,820 千円				
○工事請負費		施設改修工事費			16,838 千円				
		（ハートピア春江 井戸ポンプ設備改修）							
◆省エネ対策事業					140 千円				
○使用料		デマンド監視システム使用料						140 千円	
【事業の成果等】 ハートピア春江、みくに市民センターともに、新型コロナウイルス感染症対策を行い、安心安全に利用できるよう適正な維持管理を行った。今後も市民の文化芸術活動の拠点として、両館の特性を活かしながら、市民の文化意識の向上を目指した施設の運営に取り組む。									
【事業の実績値等】									
			目 標 値			実 績			
		ハートピア春江利用者数	80,000人			56,066人			
		みくに市民センター利用者数	16,300人			12,736人			

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費	
大 事 業	001	文化財保護審議会運営事業				決 算 書 P. 221			
中 事 業	01	文化財保護審議会運営事業				所管 部 局	教育委員会事務局 文化課		
予 算 額	当 初		決 算 額		不 用 額				
	289 千円		229 千円		60 千円				
前年度	239 千円		215 千円		24 千円				
主 な 特 定 財 源					千円 千円 千円				
予 算 流 用 (増 減) 額	0 千円		予 備 費 充 用 額		0 千円				
【事業の目的】 坂井市教育委員会の諮問機関で、文化財の保存および活用に関する重要事項について調査審議し、建議する。									
【事業の概要】									
○報酬	文化財保護審議会委員報酬（9名）				207 千円				
○旅費	文化財保護審議会委員費用弁償				21 千円				
○需用費	食糧費（会議用お茶）				1 千円				
【事業の成果等】 市内にある彫刻と絵画の文化財について、調査を行い、絵画については、令和5年に市指定文化財となるよう進めている。また、現在未指定の文化財について、候補の審議を引き続き行う。									
【事業の実績値等】									
		R4		R3					
処理議案数		4議案		5議案					

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費	
大 事 業	051	文化財保存事業				決 算 書 P. 221			
中 事 業	01	文化財保存管理事業				所管 部 局	教育委員会事務局 文化課		
予 算 額	当 初	補 2	補 3	決 算 額		不 用 額			
	15,979 千円			12,069 千円		3,910 千円			
前年度	32,576 千円			25,674 千円		6,902 千円			
主 な 特 定 財 源	国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			266 千円				
	国庫支出金	文化財管理事業費補助金			117 千円				
	諸収入	文化体験学習参加負担金			16 千円				
予 算 流 用 (増 減) 額	0 千円		予 備 費 充 用 額		0 千円				
【事業の目的】 坂井市域に存在する国・県・市の指定を受けた文化財の保存・管理のための必要な措置を講じる。また、広く市民への公開や活用を通して文化財の保存と活用の意識向上を図り、郷土歴史、文化の振興に貢献する。									
【事業の概要】									
◆文化財保存管理事業				11,463 千円					
○報償費				755 千円					
		有識者謝礼（市内指定文化財調査協力謝礼）		215 千円					
		文化財管理奨励金		540 千円					
○旅費		特別旅費		84 千円					
○需用費				1,576 千円					
		消耗品費（事務用、広報用消耗品・体験学習材料費）		48 千円					
		食糧費（地域計画講演会講師弁当・お茶）		2 千円					
		光熱水費（出世山古墳公園等電気料・上下水道料）		130 千円					
		修繕料（出世山古墳公園灯・トイレ修繕）		1,395 千円					
○役務費				105 千円					
		カモシカ処理手数料（5体）		77 千円					
		丸岡城関連施設・出世山古墳公園火災保険料他		28 千円					
○委託料				2,716 千円					
		文化財管理委託料（古墳公園等清掃・草刈等）		2,221 千円					
		燻蒸委託料（丸岡歴史民俗資料館燻蒸）		495 千円					
○使用料及び賃借料				246 千円					
		出世山古墳公園、銅鐸出土記念碑敷地借上料		146 千円					
		有料道路通行料（天之宮修理協議：滋賀県大津市）		10 千円					
		機材借上料（画像編集用パソコンリース料）		91 千円					
○工事請負費		施設工事費		1,912 千円					
				(文化財保管施設関係工事、出世山古墳公園関係工事外)					
【次頁へ】...									

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大 事 業	051	文化財保存事業				決 算 書 P. 221		
中 事 業	01	文化財保存管理事業				所管 部 局	教育委員会事務局 文化課	
…【前頁より】								
○負担金	全国史跡整備市町村協議会負担金外2件				66千円			
○補助金					4003千円			
	市指定無形文化財保存活動事業費補助金（5件）				368千円			
	指定文化財保存事業費補助金（4件）				3,635千円			
◆地域計画作成事業					606千円			
○旅費	文化庁訪問				96千円			
○委託料	市文化財保存活用地域計画広報冊子製作				495千円			
○使用料	有料道路通行料				15千円			
【事業の成果等】								
令和3年に集中豪雨で被災した国指定の天之囷（瀧谷寺所有）の修理を前年度に引き続き行った。国・県・市の指定文化財の管理者等へ奨励金の交付や無形文化財の認定団体への補助などを行い、文化財の維持・継承に努めた。今後も出世山古墳公園などの施設の維持管理も含め計画的に文化財保存管理を行う。								
また、文化財保存活用地域計画が国の認定を受けたことに伴い認定記念講演を行い周知広報に努めた。今後、地域計画をもとに事業を進め、市の文化行政を推進する。								
【事業の実績値等】								
		目 標 値			実 績			
		文化財補助金支出件数	7件		9件			

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大 事 業	051	文化財保存事業				決 算 書 P. 221		
中 事 業	11	埋蔵文化財発掘調査事業				所管 部 局	教育委員会事務局 文化課	
予 算 額	当 初	補 2	決 算 額		不 用 額			
	16,546千円		13,337千円		3,209千円			
前年度	6,580千円		5,121千円		1,459千円			
主 な 特 定 財 源	国庫支出金	埋蔵文化財調査費補助金				1,000千円		
						千円		
						千円		
予 算 流 用 (増 減) 額	0千円		予 備 費 充 用 額	0千円				
【事業の目的】								
埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開・活用し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。								
【事業の概要】								
○給料	会計年度任用職員				1,539千円			
○職員手当等					369千円			
	通勤手当（会計年度任用職員）				129千円			
	期末手当（会計年度任用職員）				240千円			
○報償費					263千円			
	協力者謝礼				5千円			
	六呂瀬山古墳群調査整備委員会委員謝礼（6名）				147千円			
	六呂瀬山古墳群調査整備現地指導謝礼				111千円			
○旅費	文化庁調査官現地指導				27千円			
○需用費					132千円			
	消耗品費（発掘作業用具）				130千円			
	食糧費（会議用お茶）				2千円			
○委託料					11,007千円			
	六呂瀬山古墳群発掘調査支援業務				9,930千円			
	試掘調査掘削委託料（14件）				1,077千円			
【事業の成果等】								
今年度の発掘調査の結果、国史跡六呂瀬山古墳群1号墳の全長が143mとなり、北陸で最大の前方後円墳となった。また、埋蔵文化財包蔵地内での工事の届出は161件あり、そのうち42件は遺跡への影響が懸念されることから、試掘調査、工事立会で対応した。また、今後も継続して、関係機関との円滑な調整を図るとともに、文化財保護に対する認識を高めていく。								
【事業の実績値等】								
		R4	R3					
		発掘届出件数	161件		187件			

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大 事 業	051	文化財保存事業			決 算 書 P. 223			
中 事 業	21	丸岡城関連施設管理運営事業			所管 部局	教育委員会事務局 文化課		
予算額	当初 流用		決 算 額		不 用 額			
	2,311 千円		2,141 千円		170 千円			
前年度	3,248 千円		3,173 千円		75 千円			
主な 特定 財源	諸収入	市有建物災害共済金		126 千円				
	諸収入	指定管理者修繕等負担金		100 千円				
				千円				
予算流用(増減)額	△ 762 千円		予備費充用額	0 千円				
【事業の目的】 丸岡城関連施設の運営管理を指定管理者に委託し、円滑かつ現場に即した適切な管理を行い、丸岡城の観光の充実と地域の文化振興を図る。								
【事業の概要】 【指定管理者】公益財団法人 丸岡文化財団 【指定期間】平成31年4月1日から令和6年3月31日 ○需用費 施設等修繕料（煙感知器2カ所：丸岡城、手紙の館） 126 千円 ○役務費 155 千円 丸岡城関連施設火災保険料 126 千円 丸岡歴史民俗資料館寄託資料損害保険料 29 千円 ○委託料 丸岡城周辺樹木伐採業務委託料 495 千円 ○賃借料 丸岡城周辺土地借上料 1,365 千円								
【事業の成果等】 （公財）丸岡文化財団に指定管理者として委託し、丸岡城周辺の一体的な管理運営を行った。また、丸岡城の歴史的価値を広めるため、観光情報の発信と広報宣伝活動に努め、観光面・文化面での賑わい創出を図った。入場者は、新型コロナウイルス流行前（H30）の入場者数の85%まで回復した。								
【事業の実績値等】								
		目標値	実 績					
丸岡城入場者数		129,500人	108,875人					

予 算 款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	09	丸岡城周辺整備基金費
大 事 業	001	丸岡城周辺整備基金			決 算 書 P. 237			
中 事 業	01	丸岡城周辺整備基金			所管 部局	教育委員会事務局 文化課		
予算額	当初		決 算 額		不 用 額			
	4 千円		4 千円		0 千円			
前年度	18 千円		4 千円		14 千円			
主な 特定 財源	財産収入	城周辺整備基金利子		4 千円				
				千円				
				千円				
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額	0 千円				
【事業の目的】 丸岡城周辺の整備および丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置する。								
【事業の概要】 丸岡城周辺整備基金に係る運用益等の積立を行う。 ○積立金 城周辺整備基金積立金（預金利息） 4 千円								
（参考）丸岡城周辺整備基金の状況（単位：千円）								
令和3年度末 現在高 ①		令和4年度中増減額		令和4年度末 現在高①-②+③				
		取崩額 ②	積立額 ③					
183,597		0	4	183,601				
【事業の成果等】 預金利子分を積み立て、適切に基金管理を行った。今後も目的に応じた基金の活用に努める。								

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大 事 業	051	文化財保存事業				決 算 書 P. 221		
中 事 業	16	丸岡城国宝化推進事業				所管 部 局	教育委員会事務局 丸岡城国宝化推進室	
予 算 額	当 初	補 3	補 5	決 算 額		不 用 額		
				9,482 千円	8,061 千円	1,421 千円		
前年度				8,095 千円	7,520 千円	575 千円		
主 な 特 定 財 源	諸収入	報告書頒布代				128 千円		
						千円		
						千円		
予 算 流 用 (増 減) 額			0 千円		予 備 費 充 用 額	0 千円		
【事業の目的】								
丸岡城の国宝化に向けて、丸岡城の歴史的価値を明らかにするための調査研究を行う。また収集した資料などを市民に公開し、丸岡城に対する認識を高めていく。								
【事業の概要】								
◆丸岡城国宝化推進事業 7,513 千円								
○給料 会計年度任用職員給与 3,332 千円								
○職員手当等 会計年度任用職員 通勤、期末手当 813 千円								
○報償費 講師謝礼、委員謝礼 36 千円								
○旅費 文化庁訪問 132 千円								
○需用費 1,027 千円								
消費品費（事務用、保健衛生消費品費） 15 千円								
燃料費（灯油、LPガス） 186 千円								
印刷製本費（資料集、リーフレット印刷） 301 千円								
光熱水費（電気料、上下水道料） 472 千円								
修繕料 53 千円								
○役務費 電話料、火災保険料 115 千円								
○委託料 コピー機保守点検委託料 322 千円								
○賃借料 コピー機リース料、機材借上料 178 千円								
○備品購入費 絵図資料購入 558 千円								
○補助金 丸岡城天守を国宝にする市民の会事業補助金 1,000 千円								
◆調査研究アドバイザー事業 548 千円								
○報償費 指導謝礼、協力者謝礼 335 千円								
○旅費 視察 213 千円								
【事業の成果】								
丸岡城学術調査資料集第3集（文献資料編Ⅱ 有馬清純－有馬道純の時代）および丸岡城に関するリーフレット（知られざる丸岡城No.10）を発行した。								

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大 事 業	051	文化施設管理運営事業				決 算 書 P. 219		
中 事 業	26	ONOメモリアル管理運営事業				所管 部 局	教育委員会事務局 龍翔博物館	
予 算 額	当 初	補 2	決 算 額		不 用 額			
			12,203 千円	11,660 千円	543 千円			
前年度			5,885 千円	5,281 千円	604 千円			
主 な 特 定 財 源	繰入金	まちづくり整備基金繰入金				6,400 千円		
						千円		
						千円		
予 算 流 用 (増 減) 額			0 千円		予 備 費 充 用 額	0 千円		
【事業の目的】								
故小野忠弘の住居兼アトリエの保存とその活用を図るとともに、市民の現代美術に関する興味関心を高め、美術文化の創造に寄与する。								
【事業の概要】								
○報償費（指導謝礼、賞品）「こどもが描く“ふるさと坂井” 絵画展」 88 千円								
○需用費 843 千円								
消費品費（保健衛生用・施設管理用消耗品等） 444 千円								
食糧費（来客用賄） 2 千円								
光熱水費（電気料・水道料） 320 千円								
修繕料（施設等修繕料） 77 千円								
○役務費 76 千円								
通信運搬費（電話料） 67 千円								
火災保険料 9 千円								
○委託料 2,624 千円								
警備保障委託料 172 千円								
施設管理委託料 844 千円								
樹木等管理委託料 315 千円								
清掃委託料 293 千円								
イベント事業委託料 500 千円								
調査委託料 5 千円								
ホームページ製作委託料 495 千円								
○備品購入費 施設用備品購入費 29 千円								
○負担金 共催事業負担金 8,000 千円								
【次頁へ】…								

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大 事 業	051	文化施設管理運営事業				決 算 書 P. 219		
中 事 業	26	ONOメモリアル管理運営事業				所管 部局	教育委員会事務局 龍翔博物館	
…【前頁より】								
【事業の成果等】 福井県立美術館主催の特別展「戸田正寿の世界展」に特別協賛し、坂井市出身のアーティスト戸田正寿の作品を、市内の小中学生が親子で鑑賞する機会を提供した。 なお、令和4年度は、ONOメモリアルを会場とした企画展が無かったため、入館者数が減少した。								
<ul style="list-style-type: none"> 第15回「こどもが描く“ふるさと坂井” 絵画展 出品数：2,086点 会場：三国コミュニティセンター ギャラリー 日程：9月25日～10月10日 展示：入賞作品72点 共催事業 特別協賛 福井県立美術館主催「戸田正寿の世界」 会場：福井県立美術館 日程：7月15日～8月31日 ※坂井市内小中学生保護者等にチケット（8,000枚）を配布 								
【事業の実績値等】 ONOメモリアル入館者数								
		R4			R3			
入館者数		324 人			942 人			

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大 事 業	101	文化施設管理運営事業				決 算 書 P. 223		
中 事 業	01	みくに龍翔館管理運営事業				所管 部局	教育委員会事務局 龍翔博物館	
予 算 額	当初 補2、3、5			決 算 額		不 用 額		
		63,325 千円			57,789 千円		5,536 千円	
前年度	26,793 千円			24,254 千円		2,539 千円		
主 な 特 定 財 源	寄附金	指定寄附金				10 千円		
	諸収入	(公財)福井県市町振興協会交付金				33,485 千円		
	諸収入	町誌頒布代、その他教育費雑入				59 千円		
予 算 流 用 (増 減) 額	0 千円			予 備 費 充 用 額	0 千円			
【事業の目的】 市の歴史や文化についての関心を高め、教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、市民のシビックプライドの醸成につなげる。また、歴史・文化遺産を市民共有の財産として適正に収集保管し、調査研究を進めるとともに、展示および普及事業等を通じて活用を図っていく。								
【事業の概要】 ◆みくに龍翔館管理運営事業 33,532千円								
○給料		会計年度任用職員給		7,780 千円				
○職員手当等		通勤手当、時間外手当		1,793 千円				
○需用費				13,152 千円				
		消耗品費（事務用・施設管理用等、被服費）		1,146 千円				
		燃料費（ガソリン）		135 千円				
		食糧費（来客用給）		2 千円				
		光熱水費（電気料、水道料）		11,004 千円				
		修繕料（車検修繕料、施設等修繕料）		865 千円				
○役務費				419 千円				
		通信運搬費（電話料、専用回線使用料等）		328 千円				
		手数料（車検手数料）		13 千円				
		保険料（火災保険料、自動車保険料）		78 千円				
○委託料				7,887 千円				
		施設管理委託料（空調設備保守点検・警備保障等）		5,799 千円				
		樹木等管理・除草委託料		1,265 千円				
		インターネットWEB構築委託料等		111 千円				
		展示設営業務委託料		149 千円				
		デザイン制作・レコーディング制作委託料		563 千円				
○使用料		電算機器、ソフトウェア使用料		570 千円				
○工事請負費		看板設置・電話回線等工事		1,580 千円				
○備品購入費		施設用備品購入費		333 千円				
【次頁へ】…								

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 09 文化財保護費
大 事 業	101	文化施設管理運営事業	
			決 算 書 P. 223
中 事 業	01	みくに龍翔館管理運営事業	
		所管 部局	教育委員会事務局 龍翔博物館
…【前頁より】			
○負担金	県博物館協議会、みなとの博物館ネットワーク		10 千円
○公課費	自動車重量税		8 千円
◆みくに龍翔館資料収集・保存事業			19,009 千円
○報償費	委員謝礼		40 千円
○需用費			6,672 千円
	消耗品費（事務用、資料運搬・保存用消耗品費）		673 千円
	修繕料（備品等修繕料）		5,999 千円
○役務費	展示・収蔵資料損害保険料		163 千円
○委託料			6,836 千円
	害虫駆除・清掃委託料		4,410 千円
	展示制作委託料		2,426 千円
○備品購入費	展示用備品購入費		5,298 千円
◆みくに龍翔館調査・研究事業			2,423 千円
○報償費	指導謝礼、協力者謝礼（報償物品）		2,331千円
○需用費	書籍購入費、調査等賄		13千円
○備品購入費	みくに龍翔館用図書購入費等		79千円
◆みくに龍翔館展示および教育普及事業			2,825 千円
○需用費			1,297千円
	消耗品費（事務用・OA機器消耗品費）		67千円
	印刷製本費（ポスター・パンフレット等印刷費）		1,230千円
○役務費	手数料（入館者斡旋手数料）		6千円
○委託料			1,000千円
	業務システム導入委託料（Airレジ関連機器）		314千円
	デザイン制作委託料（織ネームデザイン）		93千円
	管理運営委託料（ミュージアムショップ）		500千円
	展示制作委託料（絵画設置）		93千円
○賃借料	電算機器・山車借上料、著作権使用料		76千円
○備品購入費	施設用備品購入費		446千円
【事業の成果等】			
令和2年11月から約2年半、改修整備事業のため休館した。また、収蔵庫の燻蒸を行い、資料の保存管理を開始するとともに、新しい常設展示のための資料修復と購入を行った。教育普及事業をはじめ、オープン後の企画運営についても検討を重ねた。			

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 09 文化財保護費
大 事 業	101	文化施設管理運営事業	
			決 算 書 P. 225
中 事 業	02	みくに龍翔館改修整備事業	
		所管 部局	教育委員会事務局 龍翔博物館
予 算 額	当初 補2	決 算 額	不 用 額
571,847 千円		568,752 千円	3,095 千円
前年度	838,252 千円	815,048 千円	23,204 千円
主な 特定 財源	繰入金 繰入金 市債	まちづくり整備基金繰入金 寄附市民参画基 合併特例事業債	138,100 千円 100,000 千円 244,800 千円
予 算 流 用 (増 減) 額	0 千円		予 備 費 充 用 額 0 千円
【事業の目的】			
坂井市の博物館として、市の豊かな風土に育まれた歴史・文化遺産を大切に受け継ぎ、研究・発信するため、みくに龍翔館を改修整備する。			
【事業の概要】			
老朽化した施設を改修するとともに、市全体の歴史・文化遺産を対象とした博物館へと内容を再編し、令和5年のリニューアルオープンに備える。			
○報償費	指導謝礼、有識者謝礼		5,071 千円
○需用費			898 千円
	食糧費（会議用賄）		4 千円
	印刷製本費（ポスター・パンフレット、封筒等）		894 千円
○委託料			531,572 千円
	イベント事業委託料（オープン記念品製作業務）		299 千円
	運搬業務委託料（収蔵資料等運搬業務）		9478 千円
	制作業務委託料（イルミネーション企画制作業務）		2,196 千円
	展示制作委託料		519,599 千円
○工事請負費			31,211 千円
	照明灯改修工事費（ライトアップ設備改修）		10,362 千円
	広場等整備工事費（庭園整備）		20,130 千円
	建物設備修繕工事費 （発電機蓄電池等取替、エレベーターバッテリー等取替）		719 千円
【事業の成果等】			
令和3年度・4年度で展示製作を実施するとともに、ライトアップと庭園の改修、イルミネーションの設置を行った。さらに、リニューアル後の運営について検討や、オープニング式典などの開館準備を進め、令和5年6月にリニューアルオープンすることができた。			

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大 事 業	001	図書館管理運営事業				決 算 書 P. 225		
中 事 業	01	図書館管理運営事業				所 管 部 局	教育委員会事務局 図書館	
予 算 額	当 初	補 2	補 5	決 算 額			不 用 額	
	241,373 千円			238,204 千円			3,169 千円	
前年度	161,781 千円			159,384 千円			2,397 千円	
主 な 特 定 財 源	繰入金	まちづくり整備基金繰入金			21,800 千円			
	市債	合併特例事業債			90,500 千円			
	寄付金	指定寄付金			500 千円			
予 算 流 用 (増 減) 額	105 千円			予 備 費 充 用 額	0 千円			
【事業の目的】 地域の情報拠点施設として4つの公共図書館を運営し、読書普及や情報サービスを提供することにより、地域や住民に役立つ図書館事業を推進する。								
【事業の概要】								
○報酬	図書館協議会委員報酬			90 千円				
○給料	会計年度任用職員給			45,626 千円				
○職員手当等	通勤手当、時間外手当			9,805 千円				
○報償費	講師謝礼、協力者謝礼			436 千円				
○需用費				23,420 千円				
	消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本費			9,919 千円				
	光熱水費			10,295 千円				
	修繕料			3,206 千円				
○役務費				874 千円				
	通信運搬費			672 千円				
	自動車保険料			86 千円				
	手数料他			116 千円				
○委託料				16,126 千円				
	図書館管理システム保守			1,762 千円				
	清掃業務委託			2,044 千円				
	警備保障他			12,320 千円				
○使用料	図書管理システム、図書データ使用料他			13,394 千円				
○賃借料	公用車、防犯カメラリース料他			633 千円				
○工事請負費				99,994 千円				
	三国図書館改修工事費			99,308 千円				
	三国図書館防犯設備、電話回線等工事費			686 千円				
○備品購入費				27,767 千円				
	図書購入費			24,500 千円				
	三国図書館書架備品購入費			2,915 千円				
	施設用備品購入費他			352 千円				
【次頁へ】...								

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大 事 業	001	図書館管理運営事業				決 算 書 P. 225		
中 事 業	01	図書館管理運営事業				所 管 部 局	教育委員会事務局 図書館	
…【前頁より】								
○負担金 県図書館協会費、日本図書館協会費 39 千円								
【利用状況】								
4館合計								
項目		令和4年度			令和3年度			
来館者数(人)		341,146			342,963			
貸出者数(人)		178,770			192,115			
貸出冊数(冊)		749,522			817,456			
(各館)								
項目		年度	三国	丸岡	春江	坂井		
来館者数(人)	4年		38,614	80,930	148,015	73,587		
	3年		70,381	76,023	129,314	67,245		
貸出者数(人)	4年		20,496	36,678	80,154	41,442		
	3年		37,968	36,608	76,059	41,480		
貸出冊数(冊)	4年		79,289	154,298	297,706	218,229		
	3年		162,234	159,126	276,435	219,661		
【子どもの読書活動推進事業】								
項目		令和4年度			令和3年度			
子どもの読書活動推進事業講演会(人)		352			675			
ブックスタート(人)		549			517			
おはなし会(人)		1,020			168			
【事業の成果等】								
市民が親しみを持てる図書館を目指し、くらしや趣味等に役立つ資料や情報の収集、整備保存に努めるとともに、市内4館のネットワークや県内外の図書館と相互貸借を行った。								
全館の来館者数、貸出人数、貸出冊数はコロナ禍以前の数に戻りつつあり、子どもの読書活動推進事業では原画展と講演会を開く等、徐々に規制を緩和しながら開催した。								
施設整備面では、三国図書館では、9～3月まで改修工事のため休館し、臨時窓口の開設や、耐震工事のほか、カウンター席や書架の増設等を行った。また各館では補修や修繕等を行い、安全性と利便性の向上に努めた。								
【事業の実績値等】								
		目 標 値			実 績			
来館者数		345,000人			341,146人			
【次頁へ】...								

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	001	図書館管理運営事業				決 算 書 P. 229		
中事業	02	図書館振興整備基金事業				所管 部局	教育委員会事務局 図書館	
予算額	当初		決 算 額		不 用 額			
	510 千円		210 千円		300 千円			
前年度	3,400 千円		1,654 千円		1,746 千円			
主な 特定 財源	繰入金	図書館振興整備基金繰入金				210 千円		
						千円		
						千円		
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額		0 千円			
【事業の目的】 図書館振興整備基金を活用し、市立図書館の施設の整備および機能の充実を図る。								
【事業の概要】 坂井市立図書館の施設の整備および機能の充実を図る。 古谷綱武・吉沢久子文庫の資料の収集整理、保存を行うとともに、顕彰に努める。								
○需用費 210 千円								
資料運搬・保存用消耗品費他 97 千円								
図書整備消耗品費 26 千円								
印刷製本費 87 千円								
【事業の成果等】 古谷・吉沢文庫を読む会を毎月開催し、研究活動の一環として、文庫通信を年3回発行した。 また、文庫室の貴重な遺品や資料について虫駆除作業を行い、安全に保管維持できるよう努めた。								
【事業の実績値等】								
		目標値	実 績					
寄贈資料受入れ冊数		300冊	290冊					

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	051	記念文庫等管理運営事業				決 算 書 P. 229		
中事業	01	記念文庫等管理運営事業				所管 部局	教育委員会事務局 図書館	
予算額	当初 流用		決 算 額		不 用 額			
	1,085 千円		961 千円		124 千円			
前年度	2,396 千円		2,144 千円		252 千円			
主な 特定 財源	諸収入	図書頒布代				36 千円		
						千円		
						千円		
予算流用(増減)額	△ 105 千円		予備費充用額		0 千円			
【事業の目的】 中野重治記念文庫および小葉田淳記念文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに記念講演会や行事を開催して、郷土の誇れる文学や歴史を次代に継承する。								
【事業の概要】								
○報償費 講師謝礼 50 千円								
○需用費 消耗品費、光熱水費等 187 千円								
○委託料 630 千円								
清掃委託料 80 千円								
樹木剪定業務等委託料 550 千円								
○賃借料 防犯カメラリース料 11 千円								
○備品購入費 83 千円								
《行事の開催》								
・くちなし忌 8月20日(土)								
式典、詩の朗読他 場所 たかむく古城ホール(雨天のため)参加者数 40名								
記念講演 演題 「中野重治と三好達治『魂の温度』」								
講師 張籠 二三枝氏								
場所 たかむく古城ホール 参加者数 157名								
・小葉田淳記念文庫講演会 11月12日(土)								
演題 「福井県の山城の魅力」								
講師 南 洋一郎氏(郷土史研究者・中世考古学研究者)								
場所 たかむく古城ホール 参加者数 142名								
《見学者数》								
・中野重治記念文庫 年間 89 名								
・小葉田淳記念文庫 年間 34 名								
・今川節の部屋 年間 29 名								
【次頁へ】...								

予 算 款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大 事 業	051	記念文庫等管理運営事業				決 算 書 P. 229		
中 事 業	01	記念文庫等管理運営事業				所管 部局	教育委員会事務局 図書館	
…【前頁より】								
【事業の成果等】 くちなし忌および記念文庫講演会等、文庫関係にちなんだ講演会を実施し郷土の偉人を顕彰した。また、各文庫室資料の安全適切な保管や、遺品と資料の閲覧、研究活動の支援に努めた。								
			目 標 値	実 績				
講演会参加数			300人	299人				

予 算 款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	19	図書館振興整備基金費
大 事 業	001	図書館振興整備基金				決 算 書 P. 239		
中 事 業	01	図書館振興整備基金				所管 部局	教育委員会事務局 図書館	
予 算 額	当初		決 算 額		不 用 額			
			1 千円	1 千円	0 千円			
前年度			1 千円	1 千円	0 千円			
主 な 特 定 財 源	財産収入	図書館振興整備基金利子			1 千円			
					千円			
					千円			
予 算 流 用 (増 減) 額			0 千円		予 備 費 充 用 額	0 千円		
【事業の目的】 坂井市立図書館の施設の整備および機能の充実を図るため、坂井市図書館振興整備基金を設置する。								
【事業の概要】 坂井市図書館振興整備基金の元金に対する利息を基金に積み立てる。								
○積立金			図書館振興整備基金積立金			130 円		
(参考) 図書館振興整備基金の状況 (単位：円)								
令和3年度末 現在高 ①		令和4年度中増減額		令和4年度末 現在高①-②+③				
		取崩額 ②	積立額 ③					
6,539,181		210,448	130	6,328,863				
【事業の成果等】 目的に応じた基金の活用に努める。								

令和4年度 坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する意見

坂井市社会教育委員 田川 幸代

はじめに

坂井市教育行政においては、3年目に入った新型コロナウイルス感染防止策をとりながら、様々な面でご苦勞があったことと察する。この間、職員や関係者の皆様のご努力で、教育本来の姿が保たれていることに感謝したい。

令和4年度の坂井市教育委員会の活動状況や事業別施策の成果について確認し、その管理及び執行状況の点検・評価に関する意見を以下の通り報告する。

1. 令和4年度 坂井市教育委員会の活動状況

- 教育委員は適切な人員・人数で構成されている。
- 会議開催においては、月1回の定例会と2回の臨時会議、合計14回の会議が開催され、32件の附議事項を審議し、教育行政として充分機能を果たしているものと判断できる。
- 活動状況においては、121もの教育関連活動に、教育長をはじめ教育委員会委員が出席され、市全体の教育行政の指導・推進に係わられている様子がうかがえる。
- 指導主事学校訪問(32回)においては、市内の小中学校すべてを1～2回訪問し、各学校の様子を察知し、適切な指導が行われ、本市教育の質の高さ維持に貢献している。また、全国大会出場激励会(37回)など執り行われたことは、士気の高まりに繋がった。
- 各委員会や審議会においては、多くの領域にわたりその振興を目的とした会議・審議が適時適切な内容によって開催されている。
- 教育委員会関係の許認可状況においては、昨年度同様125の文化財が、国・県・市の指定を受けている。市の貴重な文化財を後世に残していく事は重要であり、引き続き保護にも努めてもらいたい。

2. 令和4年度 事業別施策の結果報告について

【教育総務課関係】

- 小中学校管理事業について、新型コロナウイルス感染症対策によって、小中学校の適正な維持管理に努めたこと、学びの場である学校現場の安心安全を確保・維持したことについて、大いに感謝したい。
- 教育 ICT 環境整備計画終了後も、タブレット端末の活用や Web フィルタリングやドメイン使用料の制定など、なお一層、適切な措置が講じられるよう望まれる。
- 小中学校施設設備事業について、教育環境の整備・改善のため、小学校大規模改修工事の設計業務委託や中学校特別教室空調整備設置など、学習環境の大きな改善を図っ

ている。今後も学校現場の声を基に、できる限り教育環境の向上を望みたい。

【学校教育課関係】

- 教育相談事業について、不登校の児童生徒に対し、適応指導教室と学校が連携し、保護者支援や児童・生徒への個別指導が行われている。近年、ヤングケアラーの問題も浮上してきている。SC や SSW の学校訪問によって、本人や保護者、学校との連携をし、福祉機関へ繋げるなど適切な支援ができるよう、更なる関係づくりと丁寧な対応を期待する。
- 学校・学級運営支援事業について、発達障がいなどにより、学習面や生活面で特別な支援を必要としている児童・生徒のために、学級サポーターを適切に配置し、学習支援と学級運営円滑化が図られたことは今後も期待したい。
- 小中学校教育振興事業について、小学校3校、中学校1校の県事業対象校のみならず、市内小中学校24校全てで体験活動ができたことは素晴らしい。この事業は、各学校の創意工夫により児童・生徒自身が地域の魅力や特徴に気づき、将来坂井市で活躍したいという意欲付けともなり意義ある事業だと今後も期待できる。活動テーマを「エネルギー問題」や「環境問題」に視点を置いた事業展開を望みたい。更に、中学校において、職場体験など進路に関するテーマは重要な視点であるが、防災意識を高める体験活動も切に望みたい。
- 児童・生徒管理事業について、学校医と歯科医の健康診断結果に基づき、一人ひとりの健康保持増進に、養護教諭を中心に適切な指導が行われている。スポーツ保険給付対象件数が小中学校共に昨年度より減少していることは、喜ばしいことである。
- 小学校2～5年生全員を対象に実施した国語・算数の学力調査においては、その結果を分析し、各校研究主任によるワークショップを開催して、各校の課題把握に努め学力向上に向けた授業づくりの基盤としていることは的確である。また、教員の指導力向上にもつなげる上でも期待できる。
- 就学援助事業について、保護者の経済的能力により、児童・生徒の就学そのものに妨げがあってはならない。その意味で、適正な審査認定と援助が行われ、保護者の経済的負担軽減が図られことは意義がある。諸物価高騰の昨今、この事業によって少しでも援助が得られる家庭があることは喜ばしい。
- 通学支援事業については、スクールバスの委託運行を行うことによって、遠距離通学に対しての支援がなされている。また、第2子以降の負担金無償化は、多子世帯の経済的負担軽減となっており今後も継続をお願いしたい。
- クラブ活動推進事業については、人格形成上の大切な分野の部・クラブ活動である。必要備品の購入や各種大会への出場経費補助もあり、児童・生徒の一層の意欲向上が図られた。また、外部指導者の配置は、児童・生徒の技術向上と教員の勤務負担軽減となる。まだまだ課題はあるものの、地域の公施設を活動場所とし、生徒や指導者を一堂に介し、より高度な技術を体得させる試みなど、他市の先進的な取り組みも参考

に更なる推進を期待する。

- 学校給食管理事業について、町によって学校給食の形態が異なっているが、それぞれ適切な衛生管理の下、安心・安全な学校給食が提供されていることがうかがえる。また、更なる食育や地産地消への取り組みを期待したい。成長期児童・生徒の体づくりの一部を担う学校給食は重要であるので、原材料費高騰の昨今、質の低下がないよう一層の工夫が望まれる。

【生涯学習スポーツ課関係】

- 社会教育法に基づく社会教育委員会(委員 15 名)を設置し、年 3 回会議を開催し社会教育行政全般における調査審議を通して、答申・建議を図った。また、合宿通学事業と放課後子ども教室の実行委員として、防災合宿や各種子ども教室の視察を行った。社会教育事務事業として、充分機能を果たしているものと判断できる。
- 社会教育団体補助事業について、市 P T A 連合会や青少年育成団体の活動を促進するため、青少年の健全育成等を行う社会教育団体の活動・運営支援が図られている。
- 市民運動推進事業について、「坂井市ふるさとづくり大会」を青少年育成坂井市民会議と合同で開催し、豊かで明るく住みたくなるまちづくりを目標に、市民運動への意識向上と推進が図られている。
- 国際交流推進事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により、英国招へい及び派遣事業中止はやむをえない。市内 ALT を講師として、互いの故郷や生活について英語で紹介する交流や一筆啓上賞英文作品の日本語翻訳を行えたことは、意欲的活動である。今後、国際社会で活躍する市民を育成するという長期視点で、更に推進されることを期待する。
- 子ども会育成事業について、「壁新聞コンクール」への応募数が昨年度より 4 点増え、24 作品となったことは喜ばしい。自分の地域について学び取材しまとめていくこの活動は、子どもたちが地元を再認識し、達成感も体得できる活動で今後も期待したい。少子化の今日、子どもの数が激減している地区もあり、子ども会そのものの存続やその指導者不足は、今後の課題であると思われる。
- 成人式事業について、成人年齢が 18 歳に下げられ、20 歳になった人を対象に「はたちのつどい」として自立した社会人の催にしたことは意義がある。
- わんぱく少年団事業について、この事業では寄付市民参画制度を活用し、市内小学 5・6 年生、延べ 380 人もの児童が参加し、11 種類のメニューで活動が展開された。本市の豊かな自然の中での活動や仲間と協力して得られる体験は、参加児童にとっては、生涯忘れがたいものである。今後も継続してほしい事業だと大いに期待したい。ただ、企画・運営・指導の面でご苦勞の多い活動でもあるので、この活動における人材育成及び研修は更なる工夫が重要であると思われる。
- 青少年育成坂井市民会議事業について、「赤ちゃんにつながるオンライン交流会」が本

年度も中学校4校で実施できた。命の尊さや将来の家族の一員としての意識付けの上でも継続して行ってほしい活動の一つである。いきいき見守り隊活動の見守り隊隊員数の増加も安心安全な環境づくりに貢献していて感謝したい。

- 放課後子ども教室推進事業について、地域ボランティアの協力の下、本年度は開催日数も増え25教室の確保は、子どもの安心安全な活動拠点・居場所として意義がある。各教室の学習・体験内容の多様化に向け、指導者・協力者の登録増加について、先進自治体を参考にすることも一考である。
- 合宿通学事業について、防災への意識付けを付加した「防災合宿」は、災害多発の近年において特に意義がある事業である。進め方や地域ボランティアなども定着してきた。様々な課題や制約がある中、できるだけ多くの児童が経験できる事業となることを期待する。
- 心の家庭教育支援事業について、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動が制限される中、広報紙「ほやほや」を通じて積極的に活動のPRを行った。また、36名の支援員対象に、子どもたちとの信頼関係を育む言葉かけや、相談対応技術力向上の研修が、外部講師を招いて2回実施され、スキルアップが図られた。
- 愛護センター事業について、各自治区懇談会や合同巡回街頭補導は、青少年健全育成に寄与する部分大きい。322名の補導員による活動は、今後ますます各関係機関と連携強化が望まれる。
- スポーツ推進委員運営事業・大会運営事業について、市民からの派遣依頼を受け、体操指導やニュースポーツ指導の実施は、スポーツを通して市民の健康づくり推進に貢献している。また、市民の誰もが気軽に参加できる場の提供や、各種大会の開催、市民スポーツ祭などによって、生涯スポーツの普及推進も図られた。
- ワールドマスターズゲーム運営事業について、令和5年度開催に向け、ホームページを通して情報発信等様々な準備を行った。また、オープン競技として本市で行われるディスクゴルフの体験会を開催するなど、本競技の普及活動を図った。
- スポーツ振興事業について、激励金支給者数が、昨年度に比べ1.5倍に増加していることは、市民の競技スポーツ・生涯スポーツの推進やスポーツによる青少年の健全育成に対する支援が十分に図られていると思われる。
- 体育施設管理事業について、各体育施設の修繕・改修など維持管理が適切に行われている。また、利用者のニーズに合わせた備品の整備や利用者満足度向上を図っている。

【文化課関係】

- 文化振興事業について、全国大会出場への激励金を贈り、大会での活躍を激励し、本市の文化芸術の向上を図った。また、「坂井市文化未来会議」を開催し、幅広く市民の意見を求め、文化施策推進を図ったことは、今後も大いに期待できる事業である。

- 文化団体補助事業について、丸岡文化財団が主催する一筆啓上賞は30回目となり、市を代表する事業として定着している。また、まるおか子供歌舞伎は3年ぶりの18回目公演が実現できた。坂井市文化協会は、様々な団体が文化活動に参加できるように企画運営を担っている。文化振興事業団も市民の文化意識の向上や次世代育成に大きく貢献している。
- 文化活動支援事業について、市民文化祭は実行委員会に委託し、その委託料は、市民の文化活動への積極的参加を推進するために適正に執行されている。また、公演事業では、若手音楽家によるコンクール開催など、市民参加・育成型事業への支援が図られた。
- 一筆啓上手紙の館管理運営事業について、「手紙の館」の館内は手紙をテーマにした企画を進め、デジタル画像を取り入れた紹介がされ、幅広い年齢層の入館数増加に努めている。
- 文化の森・みくに市民センター管理運営事業について、ハートピア春江、みくに市民センターともに、新型コロナウイルス感染症対策を行い、安心安全に利用できるよう適正な維持管理ができたことは感謝すべきことである。今後も市民の文化芸術活動拠点としての施設であることが強く望まれる。
- 文化財保存管理事業について、坂井市域に存在する国・県・市指定文化財は後世に残すべく適正な保存・管理がなされている。また、昨年度に引き続き、集中豪雨で被災した瀧谷寺所有の天之図の修理が行われ、文化財の維持・継承に努めており、今後も継続してほしい。
- 埋蔵文化財発掘調査事業について、北陸で最大の前方後円墳である六呂瀬山古墳群1号墳の発掘では、文化財の保護と開発事業との円滑な調整が図られている。
- 丸岡城関連施設管理運営事業について、丸岡文化財団に指定管理者として委託されている丸岡城周辺の一体的な管理運営は適正に行なわれている。今後も丸岡城の歴史的価値を広めるため、周辺の一筆啓上茶屋・城小屋マルコなどの施設を巻き込んで、地域の賑わいが創生される様な観光情報発信に努めることを切望する。
- 丸岡城国宝化推進室について、現存12天守の中で、北陸地方で唯一現存する天守を持つ丸岡城の国宝化に向けて、丸岡城の歴史的価値を明らかにする調査研究が行われている。また市民向けに、学術調査資料集の公開やリーフレットなどで認識を高めている。
- ONO メモリアル管理運営事業について、本年度は当館を会場とした企画展がなかったため入館者数が減少したが、県立美術館で開催された坂井市出身のアーティスト戸田正寿氏の特別展に特別協賛し、市内小中学生親子の鑑賞が図られた。
- みくに龍翔館管理運営事業・改修整備事業について、令和5年度のリニューアルオープンに向け、収蔵庫の燻蒸や新しい常設展示のための資料修復と購入がなされたこと、教育普及事業などへの企画運営について進められたことは、大いに期待できる。また、

ライトアップと庭園の改修、イルミネーションの設置なども図られた。

【図書館関係】

- 図書館管理運営事業・図書振興整備基金事業について、地域の情報拠点施設として4館で適切な管理運営がなされている。4館のネットワークや県内外の図書館間相互貸借も功をなし、市民の暮らしや趣味などに役立ち、且つ情報収集のできる親しみある図書館となっている。また、図書振興整備基金を活用し、文庫室の遺品や資料について、安全に保管維持できるよう図られた。
- 記念文庫等管理運営事業については、本市図書館は、記念文庫や郷土資料など価値ある資料を多く所蔵している。郷土ゆかりの中野重治、小葉田淳両氏の遺産を継承し、その業績を収めている記念文庫の価値は高い。今後とも適切な管理運営が望まれる。
- 図書振興整備基金については、市内図書館の設備の整備及び機能の充実を図るため、更なる目的に応じた基金活用が望まれる。

坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書に関する確認結果等について

坂井市 PTA 連合会

会長 小林 寛史

◆総評

令和4年度の坂井市教育委員会の活動、および事業別施策に関して、各活動・事業とも坂井市民の教育向上、生活向上に繋がっていると高く評価いたします。

なお、確認・審査結果等は以下のとおりです。

1. 令和4年度 坂井市教育委員会の活動状況

- 教育委員会及び教育委員会委員は、適切な人員・人数で構成されていると評価します。
- 委員会会議の開催状況は、定例及び臨時委員会を年間14回、32件の附議事項を審議し、坂井市教育行政の運用の為に必要な内容であり、適切な委員会開催状況であると評価します。
- 教育長・教育委員会委員の活動状況は多くの教育関係行事（各種式典・会議・イベント）に各委員が積極的に出席していることを高く評価します。
- 指導主事学校訪問においては、市内のすべての小中学校を1～2回程度訪問し、各学校の様子を視察するなど適切な指導を行っている、と高く評価します。
- 委員会、審議会の審議状況については、多様な内容について協議を行っており、適切な会議の運営であると高く評価します。
- 教育委員会関係の許認可の状況について、文化財の指定状況を確認しました。今後も各文化財の適正な維持管理を行っていただき、市内文化財のさらなる充実を期待します。

2. 令和4年度 事業別施策の成果報告について

【教育総務課関係】

- 小中学校管理事業について、新型コロナウイルス感染症対策、あるいは小中学校の適正な維持管理に努めていただくことで、学びの場の安全安心を確保していただき深く感謝いたします。引き続きのご対応をお願いします。
- 小中学校施設整備事業について、大規模改修工事の実施、あるいは中学校特別教室への空調設備設置工事を行うなど、子供たちの安全安心を確保し、さらに省エネを意識した管理をされていることを評価します。今後も教育現場とのヒアリングを基に様々な教育環境の向上・改善を期待します。

【学校教育課関係】

- 教育相談事業について、児童生徒の不登校対策として、適応指導教室、及びスクールソーシャルワーカーが学校との強い連携の下、児童生徒やその家庭への支援を行っていたことを高く評価します。今後もこうした事案は増加していく傾向にあると思われるので今後とも粘り強く丁寧な対応をお願いします。
- 小中学校教育振興事業について、各小中学校による特色のある地域と進める体験推進事業は地域の文化、歴史などを勉強する素晴らしい機会と考えます。その過程で地域の方たちとの交流による経験は多くの知見を得られるのではないかと高く評価します。
- クラブ活動推進事業においては、外部指導者を配置することで生徒の技術力向上が期待されるだけでなく、教員の多忙化や指導者不足も解消される点で高く評価します。坂井市における部活動の地域移行においては、スムーズな移行となるようご尽力をお願い致します。
- 給食関係の事業について、安全・安心かつ地産地消を意識した食材を使用し、子供たちがおいしく食べることができる給食の提供を行っていることを評価します。今後も食材を通して坂井市の食文化の豊かさを伝えることができるよう、より一層地元産食材を献立に取り入れていただきたいと思えます。

【生涯学習スポーツ課関係】

- 社会教育団体補助事業に関して、地域の活力向上や社会教育を通し、青少年の健全育成を目的とした社会教育団体への活動支援に協力いただけていると高く評価します。また、当連合会への補助につきまして、厚く御礼申し上げます。
- 子ども会育成事業のうち、ジュニアリーダーの活動について高く評価します。市内青少年のリーダーとして素晴らしい人材が育成されていることを大変嬉しく思います。ただし、まだまだジュニアリーダー活動の認知度が低いと思われるので、坂井市民への周知及び積極的な活用について、協議願います。
- わんぱく少年団事業について、海や山でのアクティビティを通して、郷土の自然の豊かさを再認識できること、学校の垣根を超えた新たな交友の場として、とても意義のある事業なので、今後もさらに魅力的な活動を取り入れて継続してほしいと思えます。
- 青少年育成坂井市民会議事業について、「赤ちゃんをつながるオンライン交流会」は命の誕生・大切さについて学ぶ大変有意義な機会であると思われるので、今後も継続した事業継続をお願い致します。
- 合宿通学事業における、「防災合宿」による避難所となる体育館等での宿泊体験について高く評価致します。異常気象が常態化している昨今において、災害時での対応力を備えることができる機会と考えますので、小学生全員が体験できるような事業展開をお願い致します。

【文化関係】

- 文化振興・文化活動事業に関しては、みくに龍翔館リニューアル・丸岡城周辺整備等新幹線開業に向けた坂井市のPRに繋がるものと評価致します。
県外から多くの人を訪れる施設や文化活動を継続して活動・継承・保存していけるような支援を引き続きお願いします。

【図書館関係】

- 図書館管理運営事業に関しては、インターネットの普及による活字離れが進行しているなか、市内4図書館のネットワークにより、市民にとって利用しやすい運営がされていることを高く評価します。子どもの読書活動推進事業における「おはなし会」は聴く力を育て、耳を通して読書の楽しさを子どもたちに伝える良い取り組みであることから、今後も継続をお願い致します。